

U A V（狭域用）の取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（航空機担当）				
	作成責任者	芦塚修 緑川雄一 有田純 弥頭陽子				
	その他担当組織	防衛省 内部部局 整備計画局 防衛計画課 防衛省 陸上幕僚監部 装備計画部 通信電子課				
基本情報	予算事業ID	007495	事業開始年度	2016	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（５）指揮統制・情報関連機能		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅰ－３ 我が国自身の防衛体制の強化（国民の生命・身体・財産の保護・国際的な安全保障協力への取組）		（１）大規模災害等への対応		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	厳しさを増す安全保障環境のもと、防衛力の整備を着実に推進し、各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等のために必要なU A V（狭域用）を整備する。				
	現状・課題	各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等のために、令和４年１２月の防衛力整備計画（令和５年度～同９年度）の期間内において２２４６式を取得する予定である。				
	事業の概要	国家防衛戦略等に基づき、各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等のために必要なU A V（狭域用）を取得する。				
	事業概要URL	--				

根拠法令	法令名		法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法		昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	--	--	--		--	
備考	--					

予算・執行

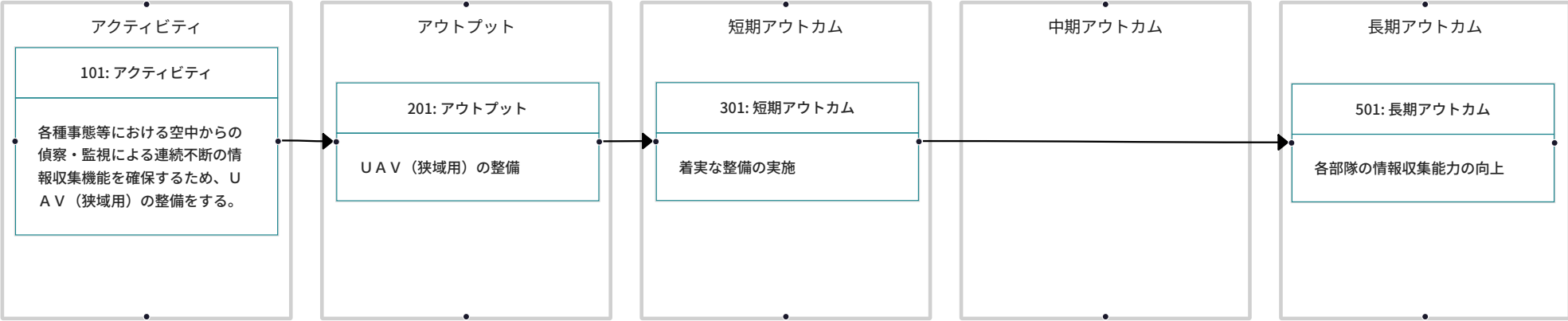
予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	614,000	1,679,700	4,298,867
	当初予算		0	1,143,346	1,379,700	4,298,867
	補正予算		--	300,000	--	--
	前年度から繰越し		--	--	201,960	--
	予備費等		--	--	--	--
	計		0	1,443,346	1,581,660	4,298,867
	執行額		--	979,110	1,285,350	--
	執行率		--	67.8%	81.3%	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 通信機器購入費		--	1,379,700	4,298,867
		前年度から繰越し --		--	201,960	--

主な増減理由	防衛力整備計画等に基づき、UAV（狭域用）の取得経費を計上したことによるもの。	その他特記事項	--
--------	---	---------	----

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	各種事態等における空中からの偵察・監視による連続不断的の情報収集機能を確保するため、U A V（狭域用）の整備をする。									
アウトプット	活動目標	U A V（狭域用）の整備			活動指標	必要なU A V（狭域用）の取得実績				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	取得実績				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2023年度	2024年度		2025年度		2026年度		
	当初見込み／目標値(式)		0	390		344		556		
	活動実績／成果実績(式)		--	390		--		--		
↓ 後続アウトカムへのつながり	防衛力の整備を着実に推進していくことが必要であり、契約実績を短期アウトカムとして設定した。									
短期アウトカム	成果目標	着実な整備の実施			成果指標	必要なU A V（狭域用）の契約実績				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	契約実績				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2023年度	2024年度		目標年度 2025年度				
	当初見込み／目標値(契約数)		2	2		2				
	活動実績／成果実績(契約数)		2	3		--				
	達成率(%)		100	150		--				
↓ 後続アウトカムへのつながり	各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等に必要な情報収集能力確保のため、配備数を長期アウトカムとして設定した。									
長期アウトカム	成果目標	各部隊の情報収集能力の向上			成果指標	必要なU A V（狭域用）の配備数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	配備実績				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(配備数)	441	2,246	2,246	2,246	2,246	2,246	2,246
	活動実績／成果実績(配備数)	18	18	408	--	--	--	--
	達成率(%)	4.1	0.8	18.2	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--						
	URL	--						
	該当箇所	--						

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	・連続不断的の情報収集機能の確保は、各種事態における指揮官の状況判断及び目標標定のために必要である。 ・積極的な民生品の活用、まとめ買いによる効率化、原則一般競争入札による契約を実施しており、効率的である。 ・アクティビティについて、部隊の情報収集能力の基盤整備が可能となり、各種事態対処能力を維持・向上させることができ有効であり、目標値に向け計画的に整備している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	・アクティビティについて、目標値を達成できるよう適切な予算要求及び効率的な執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	単一の指標設定となっているが、効果発現経路が単純であるため適当である。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	年度内に改善を検討		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	・契約実績の分析及びコスト低減施策の検討等を行い、効率的な予算執行に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割				
	A	SHIMADZU PRECISION INSTRUMENT S. INC. ほか			979,110	2	UAV（狭域用）の調達相手方			
		支出先名			支出額	法人番号				
		SHIMADZU PRECISION INSTRUMENT S. INC.			979,110	4700150026654				
		契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由		
		UAV（狭域用） JDXS-H1-B 国庫債務負担行為等			559,900	--	--	--		
		UAV（狭域用）汎用型 JDXS-H20 国庫債務負担行為等			419,210	--	--	--		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目		使途		金額	
	A	SHIMADZU PRECISION INSTRUMENTS. INC.	UAV（狭域用） JDXS-H1-B		物品購入費		UAV（狭域用） JDXS-H1-B		559,900	
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名			契約額		法人番号			
	A	SHIMADZU PRECISION INSTRUMENT S. INC.			676,500		4700150026654			
		契約概要（契約名）/契約方式等			契約額		入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		UAV（狭域用） JDXS-H1-B 一般競争契約（最低価格）			676,500		3	--	予定価格を類推されるおそれがあるため。	
		契約先名			契約額		法人番号			
	A	日本特装株式会社			406,890		9010001033493			
		契約概要（契約名）/契約方式等			契約額		入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
UAV（狭域用）汎用型 JDXS-H20-B 随意契約（不落・不調）			406,890		2	--	予定価格を類推されるおそれがあるため。			

その他備考

--

U A V（中域用）の取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（航空機担当）				
	作成責任者	芦塚修 緑川雄一 弥頭陽子 有田純				
	その他担当組織	防衛省 内部部局 整備計画局 防衛計画課 防衛省 陸上幕僚監部 装備計画部 通信電子課				
基本情報	予算事業ID	007496	事業開始年度	2017	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（５）指揮統制・情報関連機能		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅰ－３ 我が国自身の防衛体制の強化（国民の生命・身体・財産の保護・国際的な安全保障協力への取組）		（１）大規模災害等への対応		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	厳しさを増す安全保障環境のもと、防衛力の整備を着実に推進し、各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等に資するため、空中からの偵察・監視による連続不断の情報収集能力の獲得に必要なU A V（中域用）を整備する。				
	現状・課題	各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等のために、令和４年１２月の防衛力整備計画（令和５年度～同９年度）の期間内において２１式を取得する予定である。				
	事業の概要	国家防衛戦略等に基づき、各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における指揮官の状況判断等のために必要なU A V（中域用）を取得する。				
	事業概要URL	--				

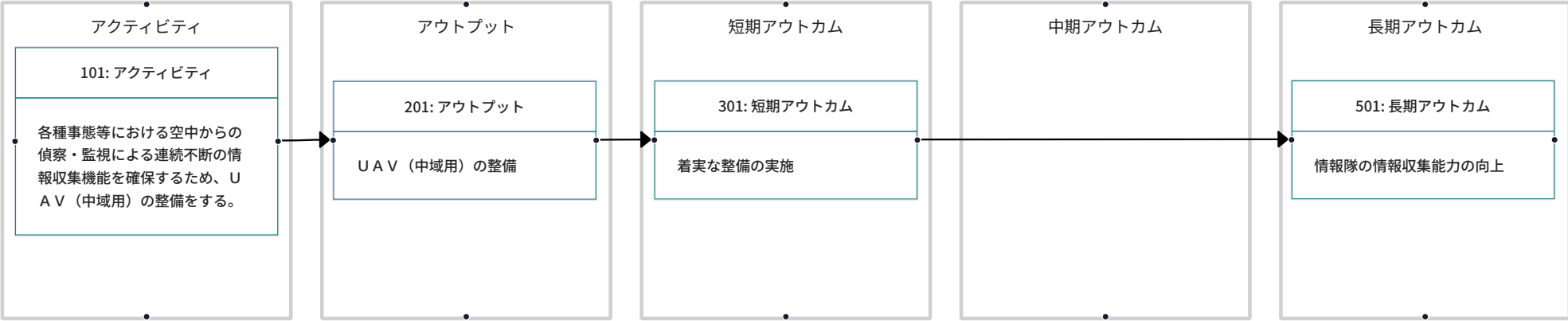
根拠法令	法令名		法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法		昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	--	--	--		--	
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	8,794,000	9,661,079	4,118,425		
	当初予算		0	8,921,973	10,401,610	4,091,945		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	5,859,497	--		
	予備費等		--	--	--	--		
	計		0	8,921,973	16,261,107	4,091,945		
	執行額		0	3,193,161	15,910,261	--		
	執行率		--	35.8%	97.8%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 通信機器購入費			--		10,401,610	4,118,425
		前年度から繰越し --			--		5,859,497	--
	主な増減理由			防衛力整備計画等に基づき、U A V（中域用）の取得経費を計上したことによるもの。		その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



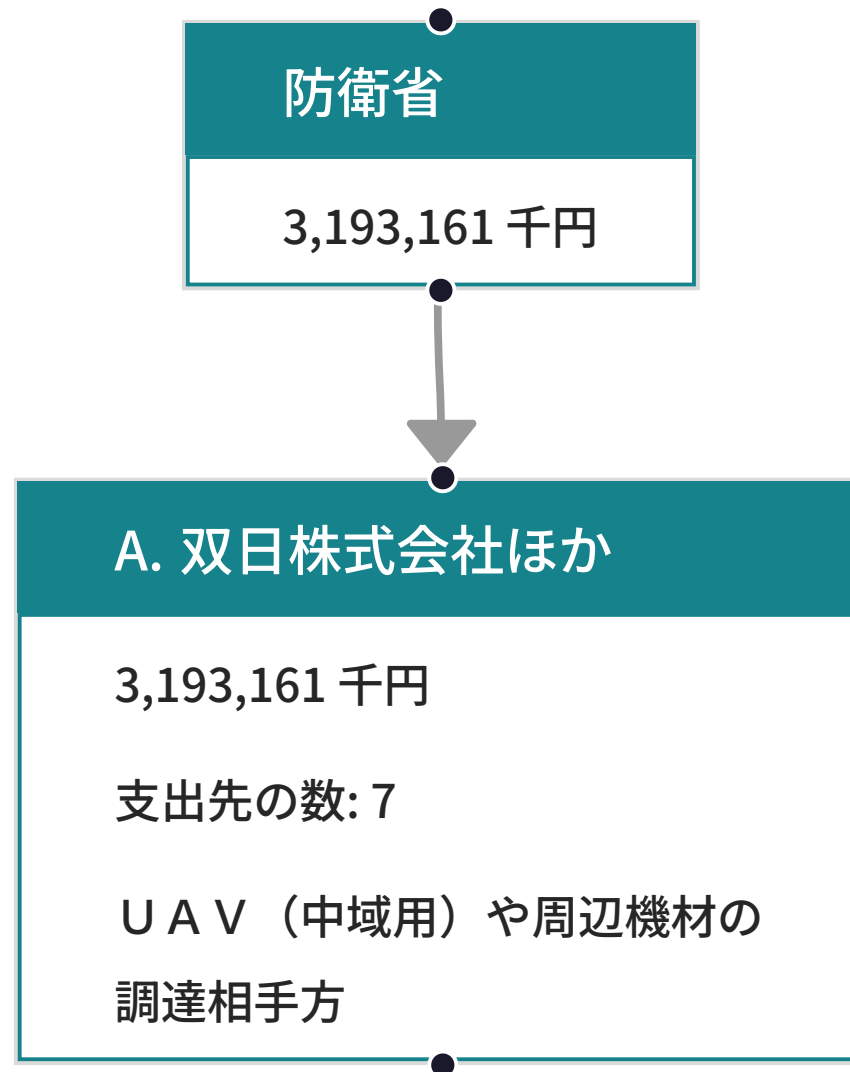
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	各種事態等における空中からの偵察・監視による連続不断的の情報収集機能を確保するため、U A V（中域用）の整備をする。									
アウトプット	活動目標	U A V（中域用）の整備			活動指標	必要なU A V（中域用）の取得実績				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	取得実績				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	当初見込み／目標値(式)		2		0		6		6	
	活動実績／成果実績(式)		2		0		6		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	防衛力の整備を着実に推進していくことが必要であり、契約実績を短期アウトカムとして設定した。									
短期アウトカム	成果目標	着実な整備の実施			成果指標	必要なU A V（中域用）の契約実績				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	契約実績				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2022年度		2023年度		2024年度		目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(契約数)		0		7		7		7	
	活動実績／成果実績(契約数)		0		7		7		--	
	達成率(%)		100		100		100		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	各種事態（島嶼部に対する侵略、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模・特殊災害等）における空中からの偵察・監視による連続不断的の情報収集能力を獲得するため、配備数を長期アウトカムとして設定した。									
長期アウトカム	成果目標	情報隊の情報収集能力の向上			成果指標	必要なU A V（中域用）の配備数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	配備実績				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み／目標 値(配備数)	23	23	23	23	23	30	30
	活動実績／成果実 績(配備数)	8	8	14	--	--	--	--
	達成率(%)	34.8	34.8	60.9	--	--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--						
	URL	--						
	該当箇所	--						

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	・ 連続不断的の情報収集機能の確保は、各種事態における指揮官の状況判断及び目標標定のために必要である。 ・ 積極的な民生品の活用、まとめ買いによる効率化、原則一般競争入札による契約を実施しており、効率的である。 ・ アクティビティについて、部隊の情報収集能力の基盤整備が可能となり、各種事態対処能力を維持・向上させることができ有効であり、目標値に向け計画的に整備している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	・ アクティビティについて、目標値を達成できるよう適切な予算要求及び効率的な執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	単一の指標設定となっているが、効果発現経路が単純であるため適当である。 装備品の特性として、一定数の随意契約は発生するが、一般競争入札については、競争性確保に向けた取組みを強化されたい。執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	年度内に改善を検討		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	・ 競争性の向上に向けた取り組みについて検討する。 ・ 契約実績の分析及びコスト低減施策の検討等を行い、効率的な予算執行に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト
(単位：千円)

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
A	双日株式会社ほか	3,193,161	7	U A V（中域用）や周辺機材の調達相手方		
支出先名		支出額	法人番号			
双日株式会社		2,164,574	5010401049977			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
偵察用U A V（中域用） 国庫債務負担行為等		2,164,574	--	--	--	
支出先名		支出額	法人番号			
株式会社日立製作所		594,000	7010001008844			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
偵察用U A V（中域用）接続装置 国庫債務負担行為等		594,000	--	--	--	
支出先名		支出額	法人番号			
三菱ふそうトラック・バス株式会社		332,904	7020001078696			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
7 tトラック 国庫債務負担行為等		332,904	--	--	--	
支出先名		支出額	法人番号			
いすゞ自動車株式会社		94,512	5010701000904			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
3 1／2 tトラック 国庫債務負担行為等		94,512	--	--	--	
支出先名		支出額	法人番号			
株式会社ホンダパワープロダクツジャパン		4,475	9030001001416			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		発動発電機 J P U－U 1 4 国庫債務負担行為等	4,475	--	--	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	住友ゴム工業株式会社		2,214	6140001008691		
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		スタッドレスタイヤ 1 2 R 2 2 . 5－1 6 P R 国庫債務負担行為等	2,214	--	--	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社ヤマカワ		483	6180001112300		
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		タイヤチェーン 9 0 3 0 4 国庫債務負担行為等	483	--	--	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	双日株式会社	偵察用U A V（中域用）	物品購入費	偵察用U A V（中域用）	2,164,574

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	双日株式会社	8,325,559	5010401049977		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		偵察用UAV（中域用）JDXS-H31 一般競争契約（最低価格）	8,325,559	1	--	当該防衛装備品に係る仕様書を貸与した業者は複数あったが、一部の仕様内容を満たせないことから辞退をしたため、1者応札となった。／予定価格を類推されるおそれがあるため。
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	株式会社日立製作所	584,100	7010001008844		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		偵察用UAV（中域用）接続装置 随意契約（公募）	584,100	1	--	予定価格を類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	株式会社ホンダパワープロダクツジャパン	7,213	9030001001416		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		発動発電機 JPU-U14 一般競争契約（最低価格）	7,213	1	--	予定価格を類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	住友ゴム工業株式会社	3,670	6140001008691		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		スタッドレスタイヤ 12R22.5-16PR 一般競争契約（最低価格）	1,848	1	--	予定価格を類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。
		スタッドレスタイヤ 12R22.5-14PR 一般競争契約（最低価格）	1,822	1	--	予定価格を類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	明治産業株式会社	1,802	6180001112300		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

		タイヤチェーン ９０３０４ 随意契約（不落・不調）	1,113	1	--	予定価格を類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。
		タイヤチェーン ９０１０４ 随意契約（不落・不調）	689	1	--	予定価格を類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。

その他備考

--

機雷搜索用UUV（OZZ-5）の整備

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）						
	作成責任者	石原里史 村中紀章						
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 艦船・武器課						
基本情報	予算事業ID	007497	事業開始年度	2020		事業終了（予定）年度	終了予定なし	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（3）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--				主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	鋼船である護衛艦（FFM）に装備し、自艦が危険海域に進入することなく機雷搜索を実施するため、機雷搜索用UUV※（OZZ－5）を整備する。 ※UUV：Unmanned Underwater Vehicle（無人水中航走体）						
	現状・課題	機雷搜索用UUV（OZZ－5）はFFMが装備する機雷搜索機器であり、対機雷戦能力確保のため必須である。そのため、対機雷戦能力発揮のため、速やかに購入及び装備を実施する。						
	事業の概要	機雷搜索用UUV（OZZ－5）の購入及び装備を実施する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	平成31年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）（平成30年12月18日国家安全保障会議決定及び閣議決定）				--			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定・閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施							

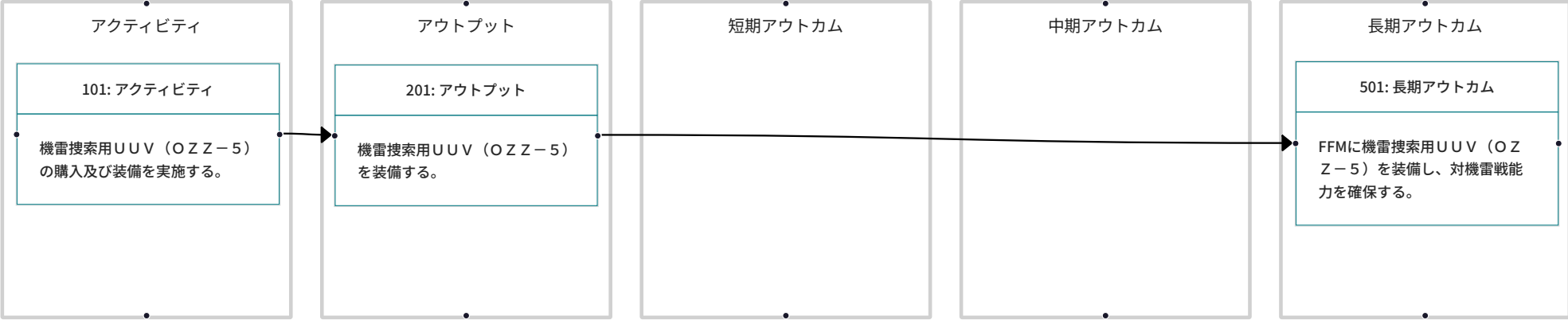
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	1,062,304	2,807,717	5,414,645		
	当初予算		3,400,000	1,062,304	2,807,717	5,429,691		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	40,008	1,649	--		
	計		3,400,000	1,102,312	2,809,366	5,429,691		
	執行額		3,317,202	1,102,312	2,809,366	--		
	執行率		97.6%	100%	100%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		2,807,717	5,414,645
		予備費等4			--		1,649	--
		--						
主な増減理由	購入数及び装備数の差異による。			その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	機雷捜索用UUV（OZZ-5）の購入及び装備を実施する。							
アウトプット	活動目標	機雷捜索用UUV（OZZ-5）を装備する。			活動指標	機雷捜索用UUV（OZZ-5）の装備数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	海上自衛隊業務計画		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2023年度		2024年度		2025年度	
	当初見込み／目標値(式)		3		2		0	
	活動実績／成果実績(式)		3		2		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	FFMに機雷捜索用UUV（OZZ-5）を装備することで、FFMの対機雷戦能力の確保につながるため、FFM就役数に対する機雷捜索用UUV（OZZ-5）の装備数を長期アウトカムに設定した。							
長期アウトカム	成果目標	FFMに機雷捜索用UUV（OZZ-5）を装備し、対機雷戦能力を確保する。			成果指標	FFM就役数に対する機雷捜索用UUV（OZZ-5）の装備数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティである機雷捜索用UUV（OZZ-5）の購入及び装備化が、最終目標であるFFMに機雷捜索用UUV（OZZ-5）を装備し、対機雷戦能力を確保することに直接結びつくため。		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(式)		6	1	0	0	0	17
	活動実績／成果実績(式)		5	--	--	--	--	--
	達成率(%)		83.3	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--						
	URL	--						
	該当箇所	--						

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 機雷捜索用UUV（OZZ-5）はFFMが装備する機雷捜索機器であり、対機雷戦能力確保のため必須である。 2 効率性 今後のFFM就役に併せて、器材調達のリードタイムを考慮しつつ、当該艦艇就役後の対機雷戦能力を最大限に発揮するよう調達・整備することが効率的である。 3 有効性 FFMに装備可能な機雷捜索機器であり、当該艦艇の対機雷戦能力を発揮するためには、他に手段がない。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、まとめ買い等、効率的な取得を図っていく。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2021
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状において単一アウトカムのみを設定することは妥当である。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

防衛省

1,102,312 千円



A. 三菱重工業株式会社

1,102,312 千円

支出先の数: 1

機雷搜索用UUV（OZZ-5）の製造及び装備

支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱重工業株式会社	1,102,312	1	機雷搜索用UUV（OZZ-5）の製造及び装備		
		支出先名	支出額	法人番号			
		三菱重工業株式会社	1,102,312	8010401050387			
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		自律型水中航走式機雷探知機OZZ-5の製造 随意契約（公募）	905,984	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
		自律型水中航走式機雷探知機OZZ-5の製造 随意契約（公募）	140,772	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
		“もがみ”型護衛艦の検査・修理支援（一般改造・改修及び装備等） 随意契約（公募）	50,393	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
	「のしろ」自律型水中航送式機雷探知機OZZ-5 水中航走体 装備 随意契約（公募）	5,163	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	三菱重工業株式会社	自律型水中航走式機雷探知機OZZ-5の製造	武器購入費	機雷搜索用UUV（OZZ-5）の製造		905,984
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号			
		--	--	--			

その他備考

--

無人機雷排除システムの整備

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）						
	作成責任者	石原里史 村中紀章						
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 艦船・武器課						
基本情報	予算事業ID	007498	事業開始年度	2022		事業終了（予定）年度	2029	
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業			
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL		
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	鋼船である F F M に装備し、自艦が危険海域に進入することなく機雷排除を実施するため、無人機雷排除システムを整備する。						
	現状・課題	無人機雷排除システムは FFM が装備する機雷排除機器であり、対機雷戦能力確保のため必須である。そのため、対機雷戦能力発揮のため、速やかに購入及び装備を実施する。						
	事業の概要	無人機雷排除システム（水上無人機、中深度型 E M D 訓練型及び洋上無線ルータ）を購入及び装備を実施する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名			法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL						
	平成３１年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（平成３１年度～平成３５年度）（平成３０年１２月１８日国家安全保障会議決定及び閣議決定）	--						
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html						
実施方法	直接実施							

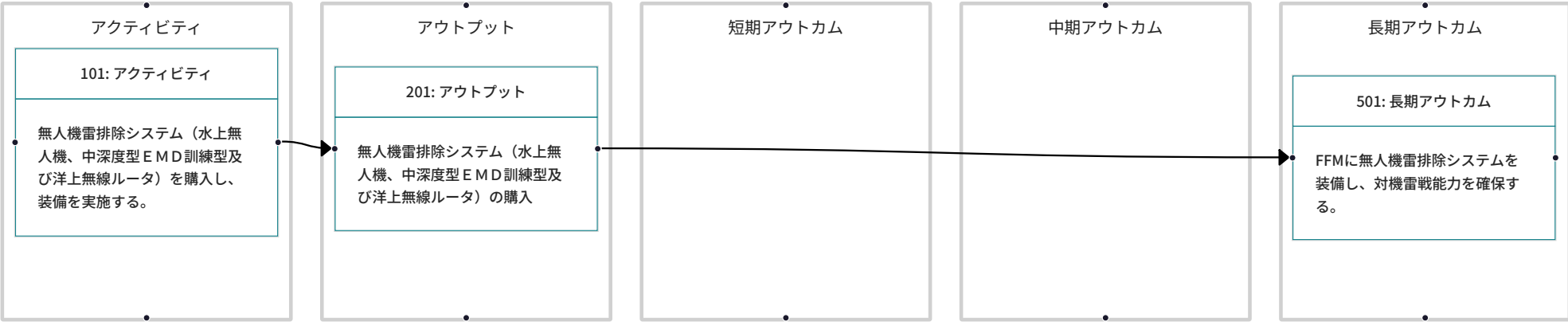
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	1,265,870	4,087,589	5,259,196		
	当初予算		352,000	1,265,870	4,087,589	5,259,196		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	--	65,717	--		
	計		352,000	1,265,870	4,153,306	5,259,196		
	執行額		246,844	1,240,376	4,153,306	--		
	執行率		70.1%	98%	100%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		4,087,589	5,259,196
		予備費等1 --			--		0	--
		予備費等4 --			--		65,717	--
	主な増減理由		調達数量、改造器材の調達の有無、装備艦の隻数の違いによる。			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり

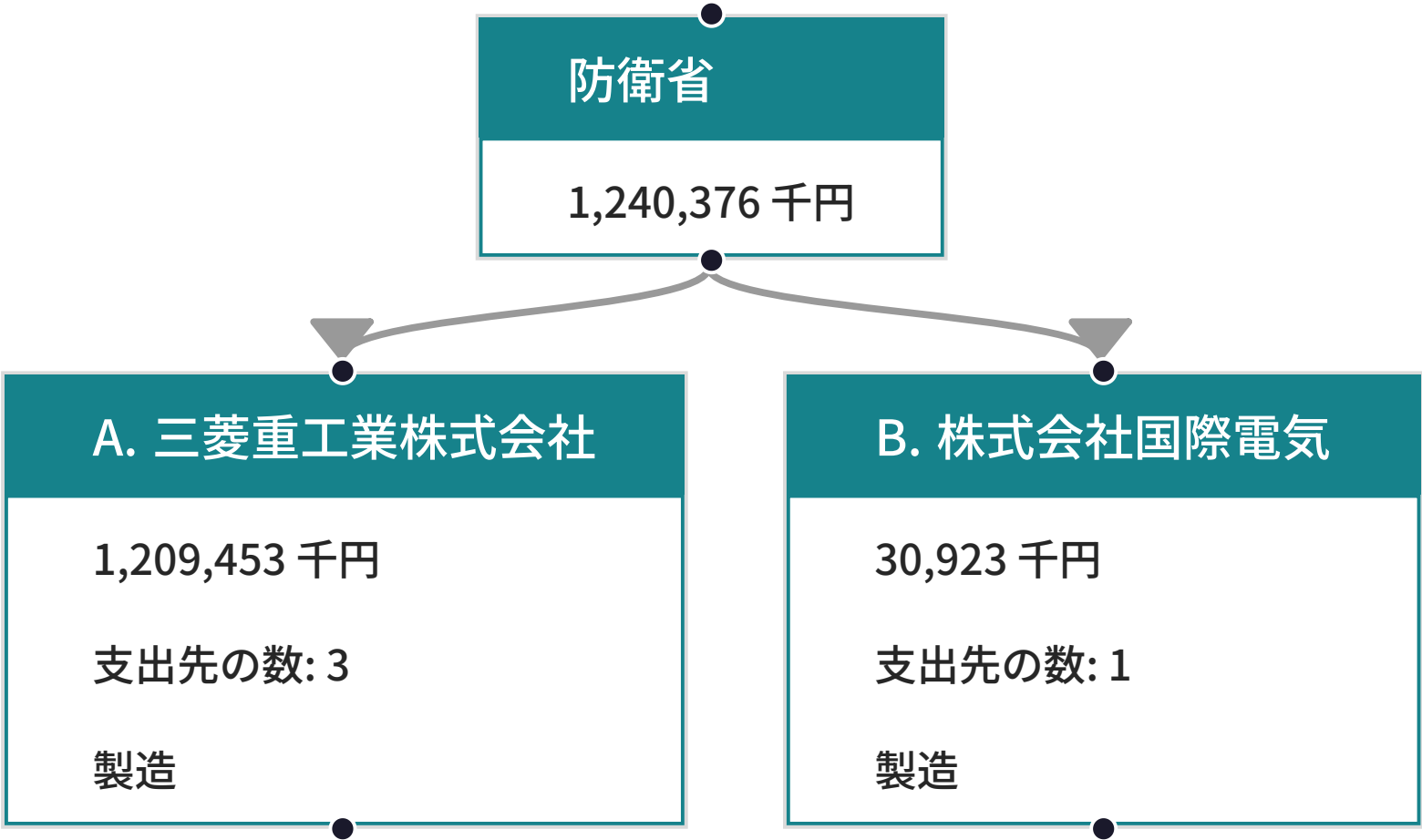


アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	無人機雷排除システム（水上無人機、中深度型 E M D 訓練型及び洋上無線ルータ）を購入し、装備を実施する。												
アウトプット	活動目標	無人機雷排除システム（水上無人機、中深度型 E M D 訓練型及び洋上無線ルータ）の購入			活動指標	無人機雷排除システムの購入数							
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	海上自衛隊業務計画							
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--							
活動・成果目標と実績			2022年度		2023年度		2024年度		2025年度				
	当初見込み／目標値(式)		1		3		3		0				
	活動実績／成果実績(式)		1		3		3		--				
↓ 後続アウトカムへのつながり	無人機雷排除システム（水上無人機、中深度型 E M D 訓練型及び洋上無線ルータ）を購入することで、FFMの対機雷戦能力確保につながるため、F F M就役数に対する無人機雷排除システムの装備数を長期アウトカムに設定した。												
長期アウトカム	成果目標	FFMに無人機雷排除システムを装備し、対機雷戦能力を確保する。			成果指標	F F M就役数に対する無人機雷排除システムの装備数							
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	海上自衛隊業務計画							
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティである無人機雷排除システムの購入が、最終目標であるFFMに無人機雷排除システムを装備し、対機雷戦能力を確保することに直接結びつくため。							
活動・成果目標と実績			2024年度		2025年度		2026年度		2027年度		2028年度		最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(式)		2		1		0		0		0		17
	活動実績／成果実績(式)		1		--		--		--		--		--
	達成率(%)		50		--		--		--		--		--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--											
	URL	--											
	該当箇所	--											

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 無人機雷排除システムはFFMが装備する機雷排除機器であり、対機雷戦能力確保のため必須である。 2 効率性 今後のFFM就役に併せて、器材調達のリードタイムを考慮しつつ、当該艦艇就役後の対機雷戦能力を最大限に発揮するよう調達・整備することが効率的である。 3 有効性 FFMに装備可能な機雷排除機器であり、当該艦艇の対機雷戦能力を発揮するためには、他に手段がない。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、効率的な取得を図っていく。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	本事業は、活動内容が事業の最終目標に直結することから、現状において単一アウトカムのみを設定することは妥当である。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱重工業株式会社	1,209,453	3	製造		
		支出先名		支出額	法人番号		
		三菱重工業株式会社		1,209,453	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		無人機雷排除システム用水上無人機 随意契約（公募）		973,500	1	100	--
		“もがみ”型護衛艦の検査・修理支援（一般改造・改修及び装 備等） 随意契約（公募）		146,853	1	100	--
		中深度型自走式機雷処分用弾薬（訓練型） 随意契約（公募）		89,100	1	100	--
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	B	株式会社国際電気	30,923	1	製造		
		支出先名		支出額	法人番号		
		株式会社国際電気		30,923	2010001098064		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		洋上無線ルータORQ－2B－3－Y 随意契約（公募）		30,923	1	100	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額	
	A	三菱重工業株式会社	無人機雷排除システム用水上無人機	物品購入費	無人機雷排除システム用水上無人機	973,500	
	B	株式会社国際電気	洋上無線ルータORQ－2B－3－Y	物品購入費	洋上無線ルータORQ－2B－3－Y	30,923	

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱重工業株式会社	4,300,560	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		無人機雷排除システム用水上無人機 随意契約（公募）	3,919,300	1	91.3	--
		無人機雷排除システム用水上無人機 随意契約（公募）	320,100	1	80	--
		「くまの」無人機雷排除システム用水上無人機 装備 随意契約（公募）	61,160	1	100	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	株式会社国際電気	93,258	2010001098064		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		洋上無線ルータORQ-2B-3-Y 随意契約（公募）	93,258	1	77.2	--

その他備考

--

海洋観測用UUVの整備

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）				
	作成責任者	石原里史 伊藤雅彦				
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 防衛部 装備体系課				
基本情報	予算事業ID	007551	事業開始年度	2023	事業終了（予定）年度	2031
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（3）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	海洋観測艦に装備し、大量かつ継続的に観測データの収集が可能であり、少人数で運用可能な海洋観測用UUVの供試器材を整備する。また、海洋観測艦（母艦）とUUV間の制御信号やステータス情報等の送受を可能とする遠距離水中音響通信モジュールの供試器材を整備する。 整備した供試器材の性能試験を実施し、UUVが要求性能に適合し、かつ、使用目的に適合するか否かについて評価する。				
	現状・課題	海洋観測用UUV及び遠距離水中音響通信モジュールは、海洋観測艦が効率的に数か月間の連続運用による連続的な海洋データを収集するために必須である。そのため、水中優勢獲得のため、速やかに供試器材を購入し、性能試験により使用目的に対する適合性を評価する。				
	事業の概要	海洋観測用UUVの供試器材及び遠距離水中音響通信モジュールの供試器材の購入し、性能試験を実施する。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施					

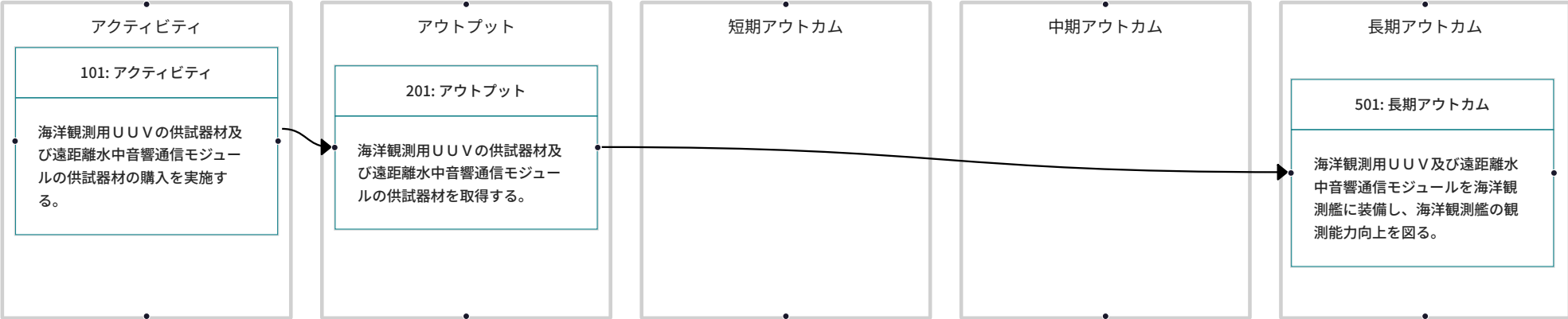
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	130,000	1,937,541	0		
	当初予算		0	130,240	1,937,541	0		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	--	--	--		
	計		0	130,240	1,937,541	0		
	執行額		0	117,128	1,792,890	--		
	執行率		--	89.9%	92.5%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 諸器材購入費			--		1,690,040	0
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 諸器材等維持費			--		247,501	0
	主な増減理由		当該年度の支出がないため			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり

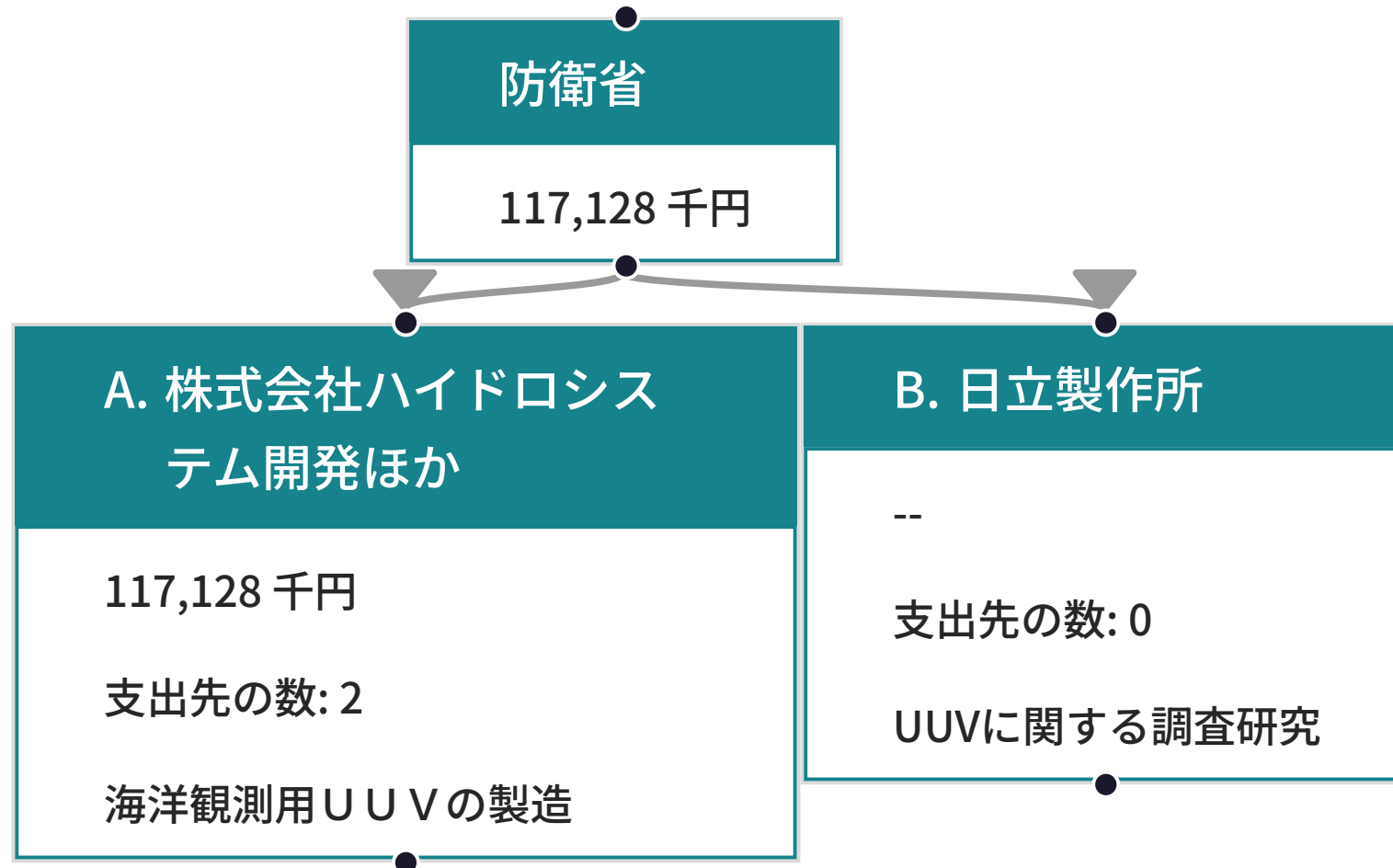


アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	海洋観測用UUVの供試器材及び遠距離水中音響通信モジュールの供試器材の購入を実施する。							
アウトプット	活動目標	海洋観測用UUVの供試器材及び遠距離水中音響通信モジュールの供試器材を取得する。			活動指標	海洋観測用UUVの供試器材及び遠距離水中音響通信モジュールの供試器材の購入数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和6年度契約原簿 国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2023年度		2024年度		2025年度	
	当初見込み／目標値(式)		--		1		--	
	活動実績／成果実績(式)		--		--		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	海洋観測能力強化及び海洋観測艦の効率的な無人機活用を確保するために成果目標を設定した。							
長期アウトカム	成果目標	海洋観測用UUV及び遠距離水中音響通信モジュールを海洋観測艦に装備し、海洋観測艦の観測能力向上を図る。			成果指標	海洋観測用UUVの供試器材及び遠距離水中音響通信モジュールの性能試験実施数量		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和6年度契約原簿 国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティである海洋観測用UUVの供試器材及び遠距離水中音響通信モジュールの供試器材の購入が海洋観測艦の観測能力の向上に直接結びつくため。		
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(式)	--	--	--	--	--	--	2
	活動実績／成果実績(式)	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--						
	URL	--						
	該当箇所	--						

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 海洋観測用UUV及び遠距離水中音響通信モジュールは海洋観測艦に装備し、大量かつ継続的に観測データの収集が可能であり、少人数で運用可能であり、また、海洋観測艦（母艦）とUUV間の制御信号やステータス情報等の送受を可能とするため必須である。 2 効率性 水中優勢獲得及び十分な観測データの収集のため海洋観測艦が効率的に海洋データを収集し、水中優勢獲得能力を最大限に発揮するよう調達・整備することが効率的である。 3 有効性 海洋観測能力強化及び海洋観測艦の効率的な無人機活用を確保するためには、他に手段がない。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、効率的な取得を図っていく。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引き続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引き続き事業の効果を測定するために適切な成果目標及び指標を設定するよう努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A	株式会社ハイドロシステム開発ほか			117,128	2	海洋観測用UUVの製造		
		支出先名			支出額	法人番号			
		株式会社ハイドロシステム開発			63,118	5120001111325			
		契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		水温構造等観測用UUV 2 型 国庫債務負担行為等			63,118	--	--		
		支出先名			支出額	法人番号			
		株式会社グローバルコム			54,010	4021001043899			
		契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	水温構造等観測用UUV 1 型 国庫債務負担行為等			54,010	--	--	--		
支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割				
B 日立製作所			--	0	UUVに関する調査研究				

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	株式会社ハイドロシステム開発	水温構造等観測用UUV 2 型	物品購入費	海洋観測用UUVの取得	63,118

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号			
	B	株式会社日立製作所	102,850,000	7010001008844			
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		海洋観測用無人水中航走体に関する技術調査 随意契約（公募）	102,850,000	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	

その他備考

--

無人回転翼機搭載レーダによる見通し外探知システムの研究

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省							
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官 計画室							
	作成責任者	岡部幸喜							
	その他担当組織	--							
基本情報	予算事業ID	020457	事業開始年度	2025		事業終了（予定）年度	2029		
	事業年度	2025			事業区分	新規開始事業			
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL		
	防衛省	Ⅳ－ 7 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤			（ 2 ）防衛技術基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
	防衛省	Ⅰ－ 1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（ 3 ）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
関連事業	--				主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	艦載することを前提とする小型軽量な無人回転翼機に搭載して、海面上を低空で飛翔するミサイル等の目標を母艦の見通し距離外から早期に探知し、追尾を継続するセンサシステムを確立する。							
	現状・課題	近年、巡航ミサイルに代表されるような海面上を低空で飛翔する脅威が増大する傾向にあり、その対応が急務であるが、地球の湾曲による見通し距離の問題があり、地上レーダーまたは艦載レーダーでは、見通し距離内に入ってから探知となり、対処時間が非常に限られる。さらに昨今は、見通し距離内に入った後に加速するようなミサイルも登場しており、さらに対処が厳しいものとなっている。このため小型無人機に搭載可能なレーダーにより母艦の見通し距離外の脅威に対し、早期警戒を実現可能な技術をすみやかに確立する必要がある。							
	事業の概要	無人回転翼機に搭載可能な小型レーダを研究試作し、海面背景下での目標探知追尾に関する研究を行う。 【EBPMアクションプラン関連事業】							
	事業概要URL	--							
根拠法令	法令名				法令番号	条		項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条		1	十四

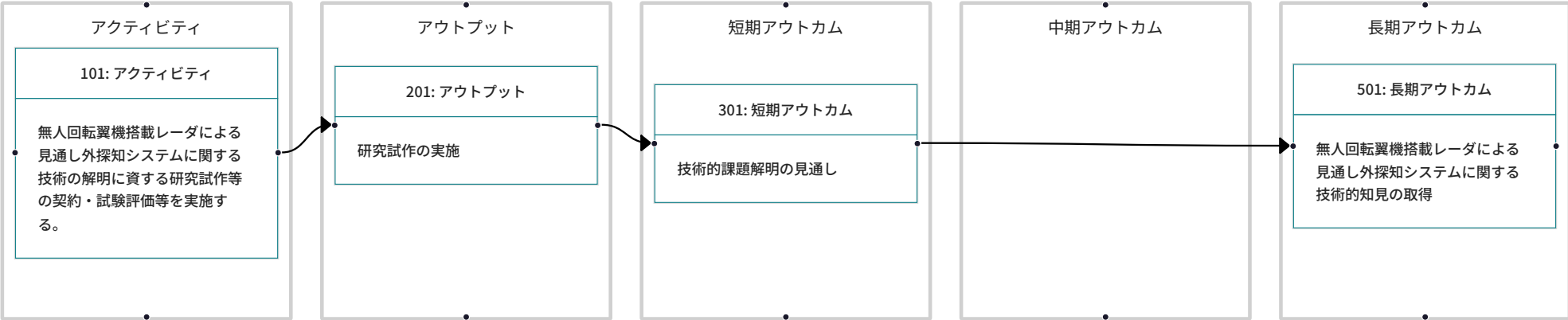
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
	ＥＢＰＭアクションプラン２０２４（令和６年１２月２６日経済財政諮問会議決定）		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2024	2025	2026	
	要求額		--	0	0	
	当初予算		--	0	0	
	補正予算		--	--	--	
	前年度から繰越し		--	--	--	
	予備費等		--	--	--	
	計		--	0	0	
	執行額		--	--	--	
	執行率		--	--	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費		--	0	0
主な増減理由	--			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



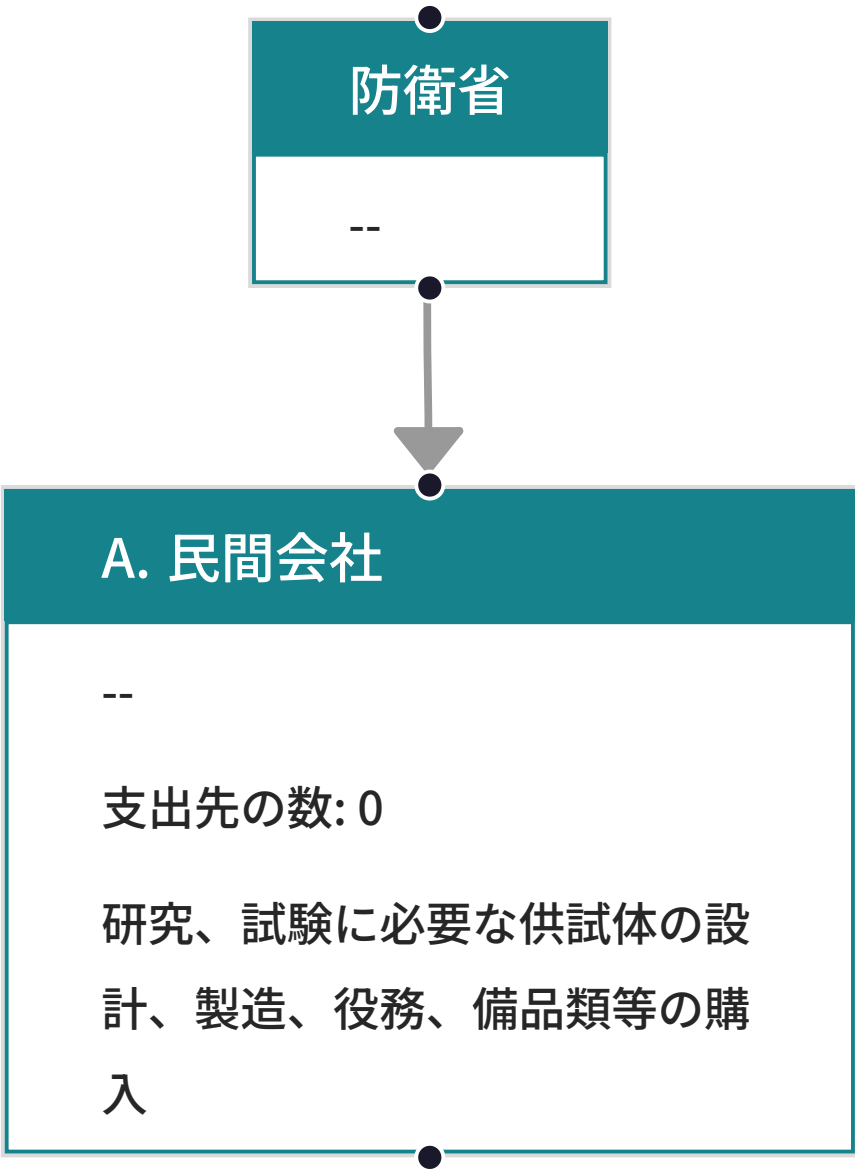
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	無人回転翼機搭載レーダによる見通し外探知システムに関する技術の解明に資する研究試作等の契約・試験評価等を実施する。				
アウトプット	活動目標	研究試作の実施		活動指標	研究試作契約の件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度業務計画
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		--		1
	活動実績／成果実績(件)		--		--
↓ 後続アウトカムへのつながり	研究事業の実施に当たっては技術的課題を設定し、研究試作の基本設計終了段階、試験終了段階それぞれで当該技術的課題の解明状況を評価していることから、研究試作の基本設計終了段階での解明見通しを得た技術的課題の数を短期アウトカムとして設定した。				
短期アウトカム	成果目標	技術的課題解明の見通し		成果指標	研究試作において解明見通しを得た技術的課題の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度業務計画
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)		--	--	2
	活動実績／成果実績(件)		--	--	--
	達成率(%)		--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	研究事業の実施に当たっては技術的課題を設定し、研究試作の基本設計終了段階、試験終了段階それぞれで当該技術的課題の解明状況を評価していることから、試験終了段階において解明した技術的課題の数を成果目標アウトカムとして設定した。				

長期アウトカム	成果目標	無人回転翼機搭載レーダによる見通し外探知システムに関する技術的知見の取得			成果指標	試験実施により解明した技術的課題の数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和７年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値 (件)	--	--	--	--	--	2
	活動実績／成果実績 (件)	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）					
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf					
	該当箇所	P127～129					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．国費投入の必要性 将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製できるよう、従来の装備体系を変えるような技術に対して重点的に投資し、技術的優位性を確保するため、先進技術を活用した本技術の研究に取り組むことが必要である。 2．事業の効率性 本研究は民生技術の知見を取り込むことで、より速やかで効率的な成果の取得を目指していると認められる。 3．事業の有効性 進展の著しい民生技術の知見を取り込んで、将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製するための研究であり、技術的優位性の確保に有効である。 4．総合評価 防衛生産・技術基盤の育成や優れた防衛装備品の創製に寄与する要素技術の確立、防衛力強化に資するものと評価できる。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	将来の戦闘様相の変化に対応するための研究であり、計画通りに進めることで着実な技術の取得に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引き続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	毎年度作成される年度業務計画及び年度事業管理報告に基づき、成果目標及び指標を設定する。 無人回転翼機搭載レーダによる見通し外探知システムの研究について、引き続き着実な研究の実施に努める。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 民間会社			--	0	研究、試験に必要な供試体の設計、製造、役務、備品類等の購入	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

VTOL型無人機の共通化に係る技術の研究

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官 計画室					
	作成責任者	岡部幸喜					
	その他担当組織	--					
基本情報	予算事業ID	020459	事業開始年度	2025		事業終了（予定）年度	2029
	事業年度	2025		事業区分	新規開始事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	将来の技術進展の取り込みや新しい任務や戦い方への対応が容易であり、戦闘損耗への許容度が高い将来の無人機を実現する上で不可欠となるオープンアーキテクチャ技術、モジュール設計技術、DX化によるラピッド設計製造技術、並びにこれらをインテグレーションし実装できることを実証し、将来の無人機の共通化に係る技術を確立する。					
	現状・課題	我が国周辺国では、無人機の配備が進展しているとともに、無人機の研究開発が活発化しており、性能向上が日々、進んでいる状況である。このような安全保障環境の変化に適切に対応するため、我が国においてもこのような無人機に有効に対処しうる将来の無人機の獲得が急務となっている。					
	事業の概要	当該事業では、令和７年度から令和９年度にかけて基本設計、モジュール設計を反映したV T O L型無人機の試作を実施する。また、令和９年度から令和１１年度まで所内試験を実施した後、研究を終了する予定である。 【EBPMアクションプラン関連事業】					
	事業概要URL	--					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL					
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定・閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html					
	E B P Mアクションプラン2024（令和6年12月26日経済財政諮問会議決定）	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf					

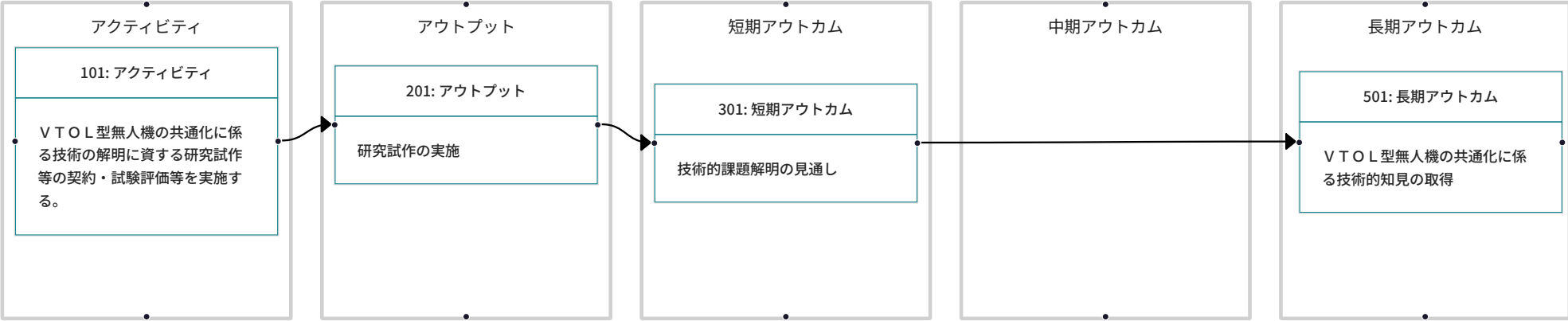
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	運用的な観点からの試験評価を実施することとしたため、所内試験の終了年度を令和１０年度から令和１１年度に変更した。			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2024	2025	2026	
	要求額		--	0	0	
	当初予算		--	0	0	
	補正予算		--	--	--	
	前年度から繰越し		--	--	--	
	予備費等		--	--	--	
	計		--	0	0	
	執行額		--	--	--	
	執行率		--	--	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費		--	0	0
主な増減理由	--			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



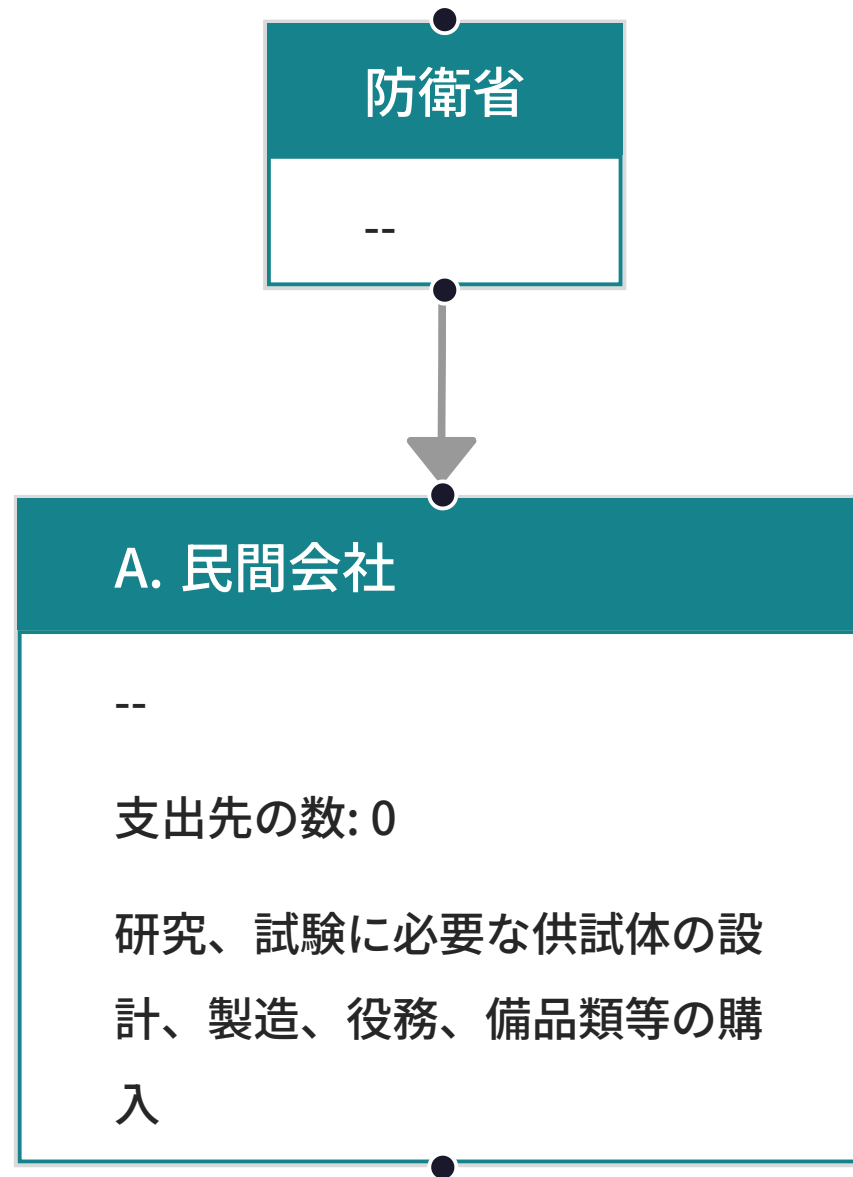
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	V T O L 型無人機の共通化に係る技術の解明に資する研究試作等の契約・試験評価等を実施する。				
アウトプット	活動目標	研究試作の実施		活動指標	研究試作契約の件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		--		1
	活動実績／成果実績(件)		--		--
↓ 後続アウトカムへのつながり	研究事業の実施に当たっては技術的課題を設定し、研究試作の基本設計終了段階、試験終了段階それぞれで当該技術的課題の解明状況を評価していることから、研究試作の基本設計終了段階での解明見通しを得た技術的課題の数を短期アウトカムとして設定した。				
短期アウトカム	成果目標	技術的課題解明の見通し		成果指標	研究試作において解明見通しを得た技術的課題の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)		--	--	1
	活動実績／成果実績(件)		--	--	--
	達成率(%)		--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	研究事業の実施に当たっては技術的課題を設定し、研究試作の基本設計終了段階、試験終了段階それぞれで当該技術的課題の解明状況を評価していることから、試験終了段階において解明した技術的課題の数を成果目標アウトカムとして設定した。				

長期アウトカム	成果目標	V T O L 型無人機の共通化に係る技術的知見の取得			成果指標	試験実施により解明した技術的課題の数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画 運用的な観点からの試験評価を実施することとしたため、長期アウトカムの最終目標年度を2028年度から2029年度に変更した。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	1	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）					
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf					
	該当箇所	P127～129					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．国費投入の必要性 将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製できるよう、従来の装備体系を変えるような技術に対して重点的に投資し、技術的優位性を確保するため、先進技術を活用した本技術の研究に取り組むことが必要である。 2．事業の効率性 本研究は民生技術の知見を取り込むことで、より速やかで効率的な成果の取得を目指していると認められる。 3．事業の有効性 進展の著しい民生技術の知見を取り込んで、将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製するための研究であり、技術的優位性の確保に有効である。 4．総合評価 防衛生産・技術基盤の育成や優れた防衛装備品の創製に寄与する要素技術の確立、防衛力強化に資するものと評価できる。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	将来の戦闘様相の変化に対応するための研究であり、計画通りに進めることで着実な技術の取得に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引き続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	毎年度作成される年度業務計画及び年度事業管理報告に基づき、成果目標及び指標を設定する。 VTOL型無人機の共通化に係る技術の研究について、引き続き着実な研究の進捗に努める。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 民間会社			--	0	研究、試験に必要な供試体の設計、製造、役務、備品類等の購入	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

滞空型無人機（UAV）の取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（航空機担当）						
	作成責任者	芦塚修 森岡信也 伊藤雅彦						
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 航空機課 防衛省 海上幕僚監部 防衛部 装備体系課						
基本情報	予算事業ID	021140	事業開始年度	2025		事業終了（予定）年度	終了予定なし	
	事業年度	2025			事業区分	新規開始事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－１我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--				主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	厳しさを増す安全保障環境のもと、人的損耗を局限しつつ任務を遂行し、隙のない情報収集・警戒監視・偵察・ターゲティング（ＩＳＲＴ）を実施するため、洋上監視に資する滞空型無人機（ＵＡＶ）を整備する。						
	現状・課題	防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定・閣議決定）において、「人的損耗を局限しつつ任務を遂行するため、既存の装備体系・人員配置を見直しつつ、各種無人アセットを早期に整備する」とされているが、海上自衛隊は、洋上監視に資する無人アセットを保有していないことから、滞空型無人機（ＵＡＶ）を整備する必要がある。						
	事業の概要	国家防衛戦略・防衛力整備計画に基づき、洋上監視に資する滞空型無人機（ＵＡＶ）を取得する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定・閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施							

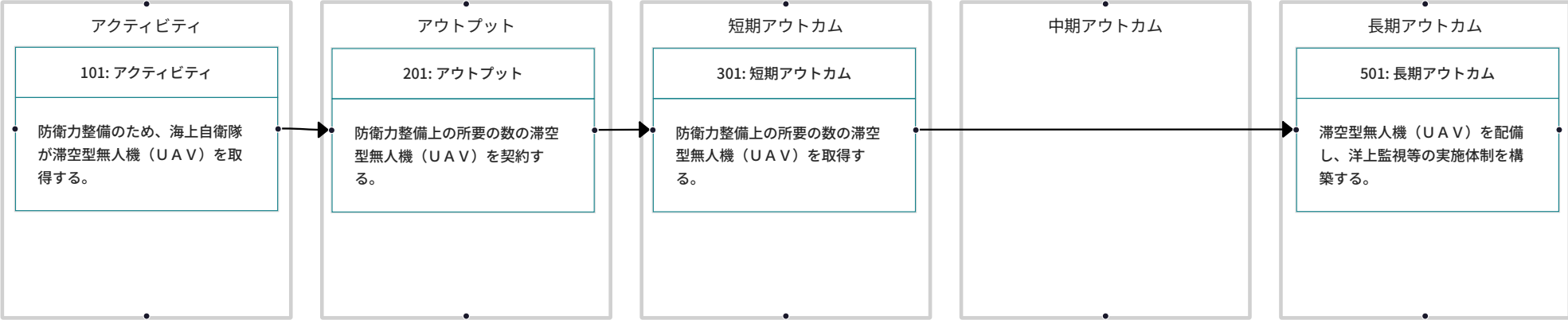
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2025		2026	
	要求額		--		1,015,388	
	当初予算		15,166,700		4,805,523	
	補正予算		--		--	
	前年度から繰越し		--		--	
	予備費等		0		--	
	計		15,166,700		4,805,523	
	執行額		15,166,650		--	
	執行率		100%		--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 航空機整備費 / 航空機購入費		2025年度（R7年度）要求 滞空型無人機（UAV）× 2 機 歳出経費	15,166,700	1,015,388
		予備費等4 --		--	0	--
主な増減理由		国庫債務負担行為による契約であるため。		その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ		防衛力整備のため、海上自衛隊が滞空型無人機（UAV）を取得する。									
アウトプット	活動目標	防衛力整備上の所要の数の滞空型無人機（UAV）を契約する。					活動指標	滞空型無人機（UAV）の契約機数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	防衛力整備計画			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績							2025年度				
	当初見込み／目標値(機)						2				
	活動実績／成果実績(機)						--				
↓ 後続アウトカムへのつながり		契約に基づき滞空型無人機（UAV）を順次取得することで、所要機数を着実に整備する。									
短期アウトカム	成果目標	防衛力整備上の所要の数の滞空型無人機（UAV）を取得する。					成果指標	滞空型無人機（UAV）の取得機数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	防衛力整備計画			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	目標年度 2035年度
	当初見込み／目標値(機)	0	--	--	--	--	--	--	--	--	23
	活動実績／成果実績(機)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり		滞空型無人機（UAV）が配備されることにより、警戒監視能力等の向上につながるため、成果目標として設定。									

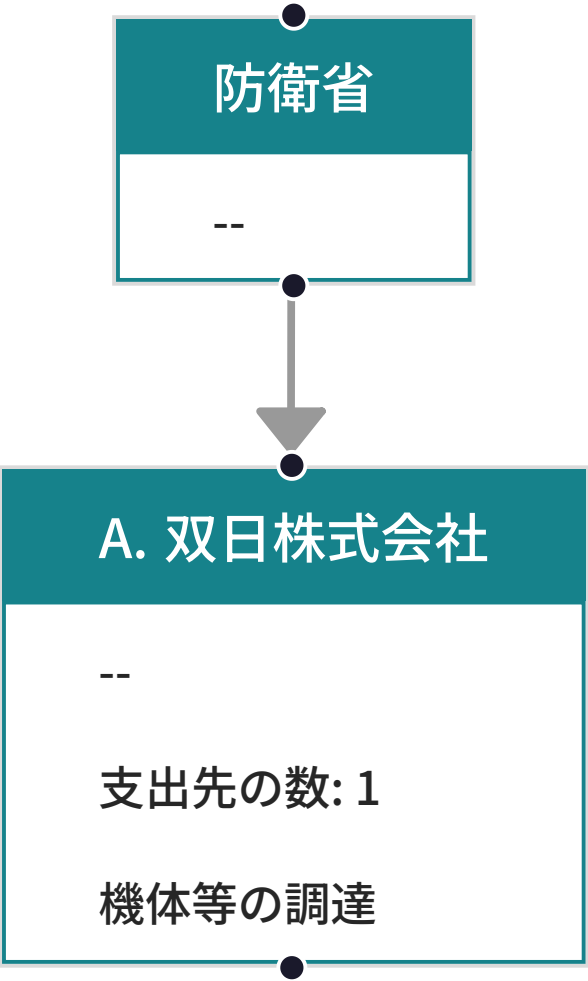
長期アウトカム	成果目標	滞空型無人機（UAV）を配備し、洋上監視等の実施体制を構築する。	成果指標	滞空型無人機（UAV）の配備機数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	防衛力整備計画
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

[illegible]

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--
	URL	--
	該当箇所	--

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性：武力攻撃事態時の高烈度な環境下で、対水上戦（ターゲッティング、攻撃成果確認）を行うためにも、人的損耗を伴わず警戒監視・情報収集等が可能な滞空型ＵＡＶの装備化が必要である。 2 有効性：有人の固定翼哨戒機が実施している警戒監視任務の一部任務の補完が可能である。 3 効率性：必要な器材の精査等により価格の低減に努めている。 4 総合評価：警戒監視・情報収集等の任務に寄与するものである。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を実施し、効率的な事業の推進に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引き続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するように努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 双日株式会社			--	1	機体等の調達	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

U A V 連携型 A I 駆動オフロード U G V の研究

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官 計画室				
	作成責任者	岡部幸喜				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	021501	事業開始年度	2026	事業終了（予定）年度	2030
	事業年度	2025		事業区分	新規要求事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（3）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	スタートアップ企業の民生技術等も活用して、UGVとUAVとの協調等について研究を行うことで、広大な領域で物資輸送、偵察、攻撃支援等を実施可能な無人機技術を確立する。				
	現状・課題	陸上自衛隊の省力・省人化のため、UGV・UAVの活用が期待されている。特に少人数で複数のUGVを操縦する等による大幅な省人化が求められており、UGVの自律性向上、UGV同士の協調、UAVも活用した任務の迅速化が必要である。そのため、UGVを長時間安定稼働させる技術、UAVとの連携による任務迅速化技術、AIの軽量化によって処理負荷を軽減する技術を速やかに確立する必要がある。				
	事業の概要	令和8年度から令和12年度まで研究を実施し、その成果を獲得する。 【EBPMアクションプラン関連事業】				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名			法令番号	条	項 号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1 十四
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障決定・閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
	EBPMアクションプラン2024（令和6年12月26日経済財政諮問会議決定）	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf				
実施方法	直接実施					

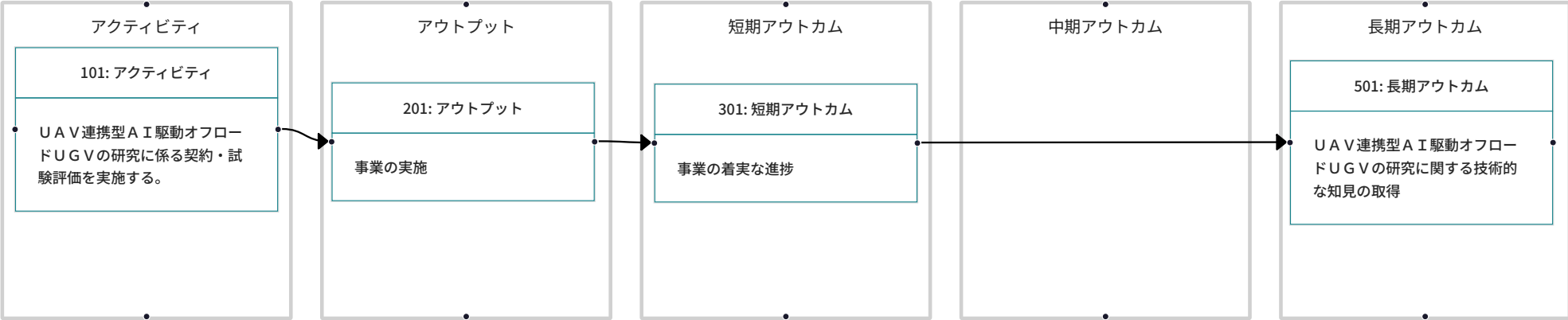
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2025		2026			
	要求額		--		150,090			
	当初予算		--		150,090			
	補正予算		--		--			
	前年度から繰越し		--		--			
	予備費等		--		--			
	計		--		150,090			
	執行額		--		--			
	執行率		--		--			
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			--		--	150,090
主な増減理由	2026年度開始予定の新規事業のため。				その他特記事項	--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



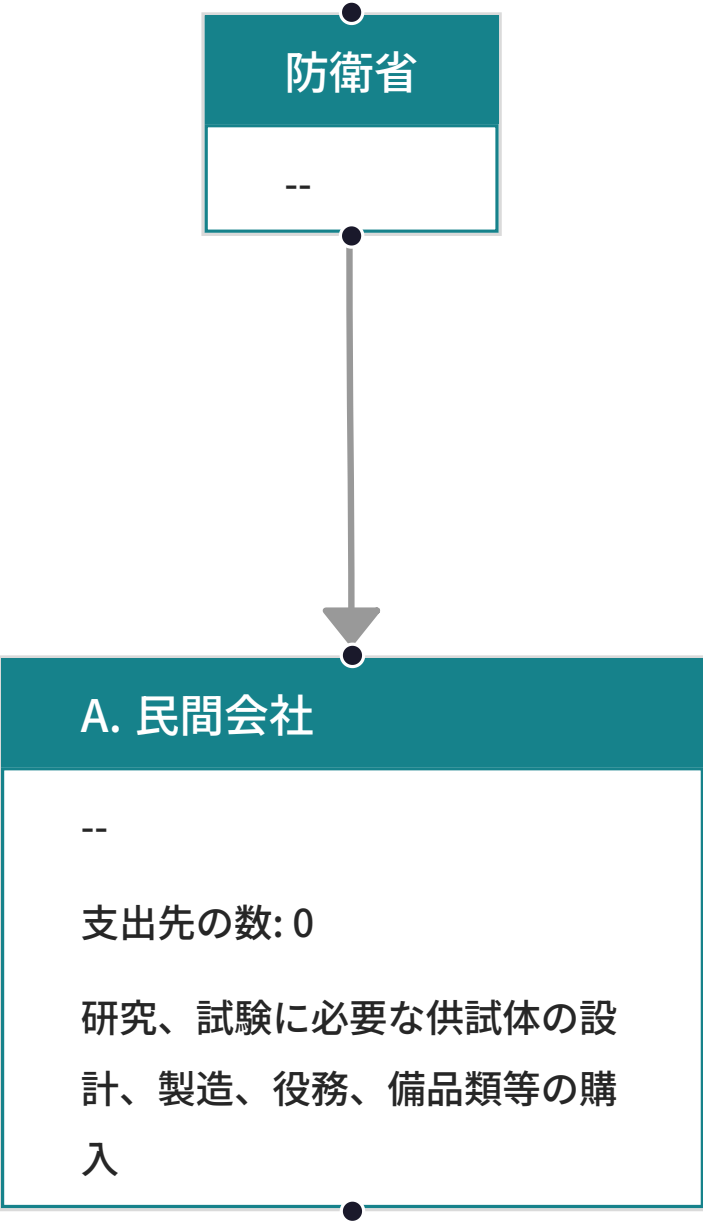
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	U A V 連携型 A I 駆動オフロード U G V の研究に係る契約・試験評価を実施する。					
アウトプット	活動目標	事業の実施		活動指標	契約の件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度政策評価書（事前の事業評価）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2025年度		2026年度	
	当初見込み／目標値(件)		0		1	
	活動実績／成果実績(件)		--		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	U A V 連携型 A I 駆動オフロード U G V に資する技術を装備品の創製につなげるため、事業を着実に進捗させる。					
短期アウトカム	成果目標	事業の着実な進捗		成果指標	進捗の確認回数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度政策評価書（事前の事業評価）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2025年度	目標年度 2026年度	目標年度 2027年度	目標年度 2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(件)	--	1	1	1	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	事業を進捗させ、装備品の創製につなげることが可能な成果を得る。					

長期アウトカム	成果目標	U A V 連携型 A I 駆動オフロード U G V の研究に関する技術的な知見の取得			成果指標	成果報告会における報告書の件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度政策評価書（事前の事業評価）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み／目標値 (件)	--	0	0	0	0	1
	活動実績／成果実績 (件)	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）					
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf					
	該当箇所	P127～129					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．国費投入の必要性 将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製できるよう、従来の装備体系を変えるような技術に対して重点的に投資し、技術的優位性を確保するため、先進技術を活用した本事業に取り組むことが必要である。 2．事業の効率性 本事業は民生技術の知見を取り込むことで、より速やかで効率的な成果の取得を目指していると認められる。 3．事業の有効性 進展の著しい民生技術の知見を取り込んで、将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製するための事業であり、技術的優位性の確保に有効である。 4．総合評価 防衛生産・技術基盤の育成や優れた防衛装備品の創製に寄与する要素技術の確立、防衛力強化に資するものと評価できる。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	将来の戦闘様相の変化に対応するための事業であり、計画通りに進めることで着実な技術の取得に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	--		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 民間会社			--	0	研究、試験に必要な供試体の設計、製造、役務、備品類等の購入	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

マルチエージェント技術を用いたU A V制御の研究

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官 計画室				
	作成責任者	岡部幸喜				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	021506	事業開始年度	2026	事業終了（予定）年度	2029
	事業年度	2025	事業区分	新規要求事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（3）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	島嶼周辺の海上、隣接島嶼及び島嶼内の遠方において、舟艇、軽装甲車両等を搜索・識別し、迅速に撃破する小型攻撃用U A Vの能力向上を図り、将来戦に対応するために、複数のU A Vを効果的に運用が可能なマルチエージェント技術（※）を確立する。 ※ マルチエージェント技術 群としての目標の達成に向けて、独立した意思決定能力を持つ個別のソフトウェアまたはハードウェア（エージェント）を組織的に協調させて大域的な機能を実現させる技術				
	現状・課題	小型攻撃用U A Vは、島嶼防衛において、洋上の舟艇等、隣接島嶼及び展開島嶼上の軽装甲車両等を撃破するために必要である。一方で対U A V能力が飛躍的に向上していることから、残存性及び攻撃効果向上のため複数機を効果的に運用する必要がある。このため、機体間通信が可能なメッシュネットワーク技術及び移動目標への対処が可能なマルチエージェント技術に関して早急に研究する必要がある。				
	事業の概要	令和8年度から令和10年度まで研究試作を実施する。また、本事業成果と合わせて、令和10年度から令和11年度まで所内試験を実施し、その成果を検証する。 【EBPMアクションプラン関連事業】				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十四

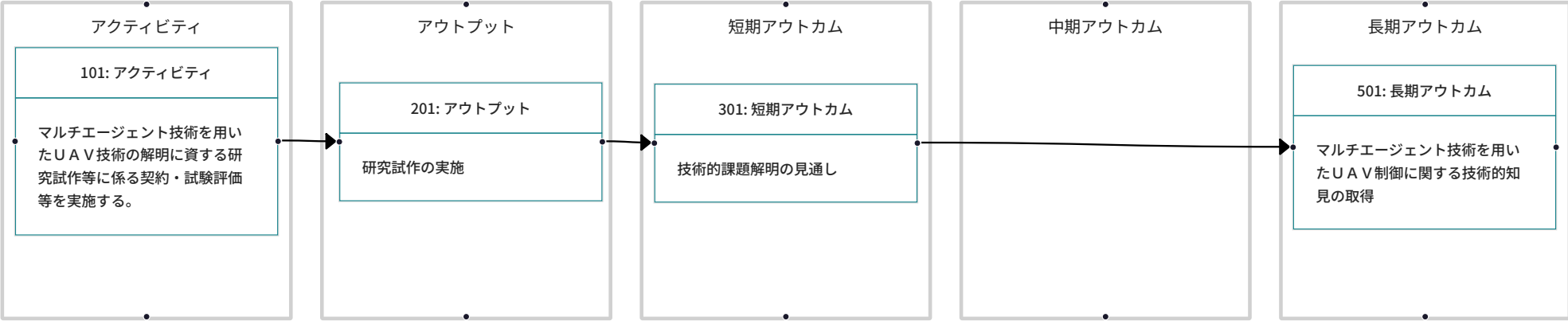
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
	ＥＢＰＭアクションプラン２０２４（令和６年１２月２６日経済財政諮問会議決定）		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2025		2026			
	要求額		--		0			
	当初予算		--		0			
	補正予算		--		--			
	前年度から繰越し		--		--			
	予備費等		--		--			
	計		--		0			
	執行額		--		--			
	執行率		--		--			
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費			--		--	0
主な増減理由	--				その他特記事項		--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



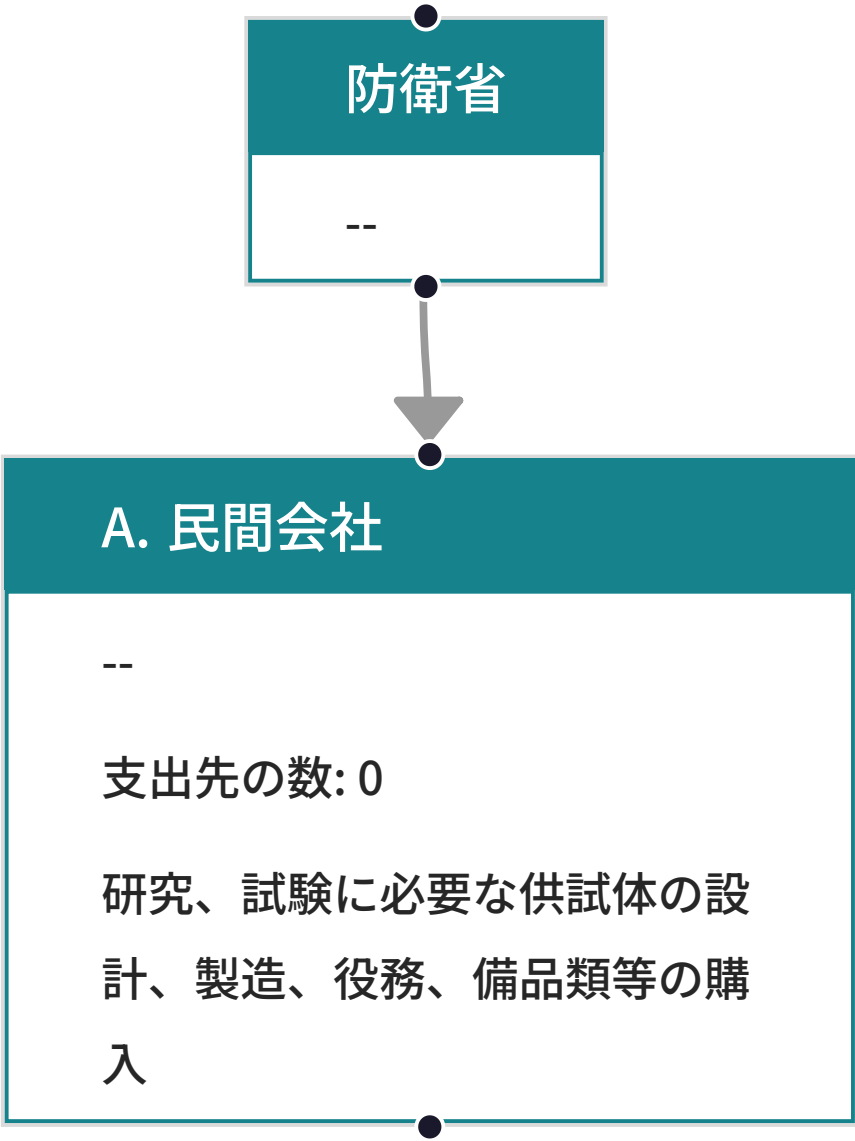
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	マルチエージェント技術を用いたU A V技術の解明に資する研究試作等に係る契約・試験評価等を実施する。				
アウトプット	活動目標	研究試作の実施		活動指標	研究試件数の件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度政策評価書（事前の事業評価）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2025年度		2026年度
	当初見込み／目標値(件)		0		1
	活動実績／成果実績(件)		--		--
↓ 後続アウトカムへのつながり	研究事業の実施に当たっては技術的課題を設定し、研究試作の基本設計終了段階、試験終了段階それぞれで当該技術的課題の解明状況を評価していることから、研究試作の基本設計終了段階での解明見通しを得た技術的課題の数を短期アウトカムとして設定した。				
短期アウトカム	成果目標	技術的課題解明の見通し		成果指標	研究試作において解明見通しを得た技術的課題の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度政策評価書（事前の事業評価）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(件)	--	0	0	2
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	研究事業の実施に当たっては技術的課題を設定し、研究試作の基本設計終了段階、試験終了段階それぞれで当該技術的課題の解明状況を評価していることから、試験終了段階において解明した技術的課題の数を成果目標アウトカムとして設定した。				

長期アウトカム	成果目標	マルチエージェント技術を用いたU A V制御に関する技術的知見の取得		成果指標	試験実施により解明した技術的課題の数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度政策評価書（事前の事業評価）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(件)	--	0	0	0	2
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）				
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf				
	該当箇所	P127～129				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．国費投入の必要性 将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製できるよう、従来の装備体系を変えるような技術に対して重点的に投資し、技術的優位性を確保するため、先進技術を活用した本事業に取り組むことが必要である。 2．事業の効率性 本事業は民生技術の知見を取り込むことで、より速やかで効率的な成果の取得を目指していると認められる。 3．事業の有効性 進展の著しい民生技術の知見を取り込んで、将来の戦闘様相の変化に対応する優れた防衛装備品を創製するための事業であり、技術的優位性の確保に有効である。 4．総合評価 防衛生産・技術基盤の育成や優れた防衛装備品の創製に寄与する要素技術の確立、防衛力強化に資するものと評価できる。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	将来の戦闘様相の変化に対応するための事業であり、計画通りに進めることで着実な技術の取得に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	--		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 民間会社			--	0	研究、試験に必要な供試体の設計、製造、役務、備品類等の購入	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

次期戦闘機と連携する無人機の研究

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省							
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（次期戦闘機担当）							
	作成責任者	河田知宏							
	その他担当組織	--							
基本情報	予算事業ID	021695	事業開始年度	2026		事業終了（予定）年度	2035		
	事業年度	2025			事業区分	新規要求事業			
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL		
	防衛省	Ⅰ－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（3）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
	防衛省	Ⅳ－7 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤			（2）防衛技術基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
関連事業	その他関連先: 5227:次期戦闘機				主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	周辺国の航空戦力に対する数的劣勢を克服するため、次期戦闘機と連携して各種戦闘を可能とする無人機を研究する。次期戦闘機と連携する無人機は、人的損耗及び消耗を局限し、かつ航空防衛力を質・量の両面で向上させ相手の無人機による非対称な損耗を被ることを防止し、人的戦力の保全を図ることが期待される。							
	現状・課題	次期戦闘機と連携する無人機は、次期戦闘機の量産初号機配備に合わせ2035年の装備化を目指す。2035年の装備化を目指すにあたり、航空機に係る過去の装備品開発の経験からは、実際の開発には長期間を要するケースが多く、また、連携無人機分野における技術の進展は急速であることから、技術的・戦略的観点からも我が国の技術力の確保が必要である。							
	事業の概要	周辺国の航空戦力に対する数的劣勢を克服するため、次期戦闘機と連携して各種戦闘を可能とする無人機を研究する。これまでの連携無人機の関連研究で得られた技術を活用し、戦闘機と連携して運用可能な無人機システムへのインテグレーション技術を確立するとともに、高度に自律的な状況認知及び行動判断を可能とする技術を確立する。【EBPMアクションプラン関連事業】							
	事業概要URL	--							
根拠法令	法令名				法令番号	条		項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条		1	十四

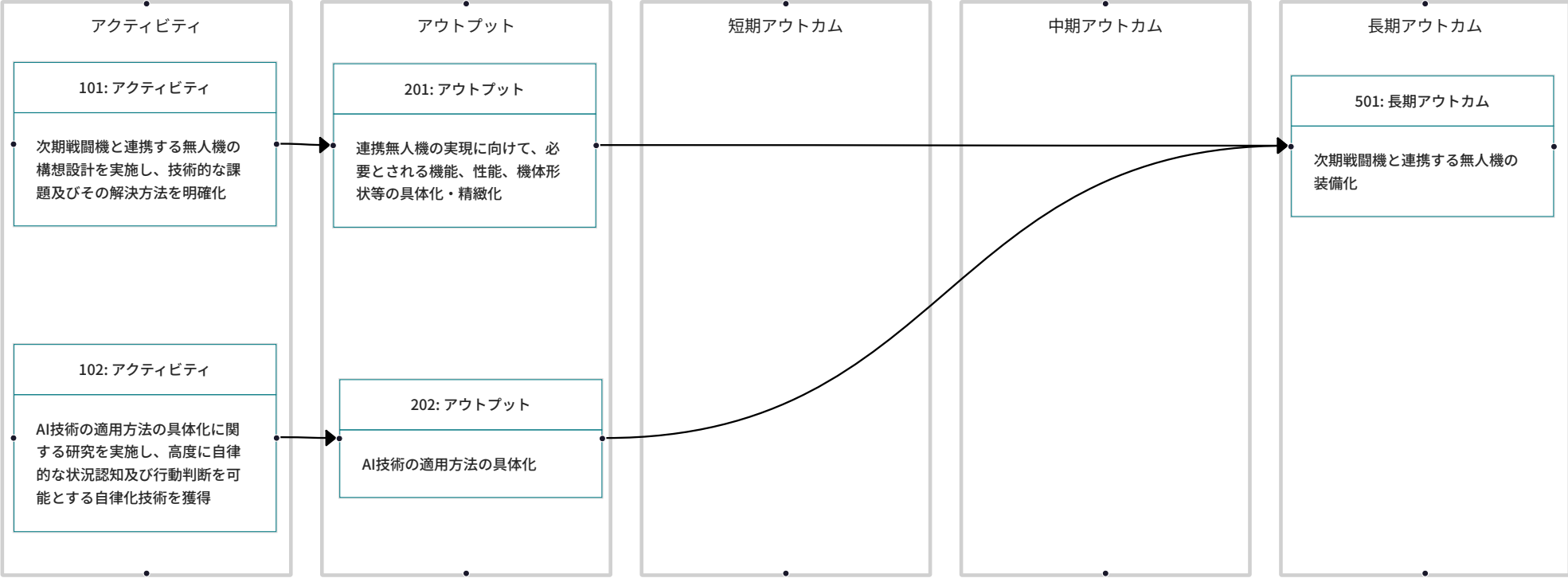
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
	ＥＢＰＭアクションプラン２０２４（令和６年１２月２６日経済財政諮問会議決定）		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2025		2026			
	要求額		--		0			
	当初予算		0		0			
	補正予算		--		--			
	前年度から繰越し		--		--			
	予備費等		--		--			
	計		0		0			
	執行額		--		--			
	執行率		--		--			
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			--		0	0
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費			--		0	0
主な増減理由	--			その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-501

[illegible]

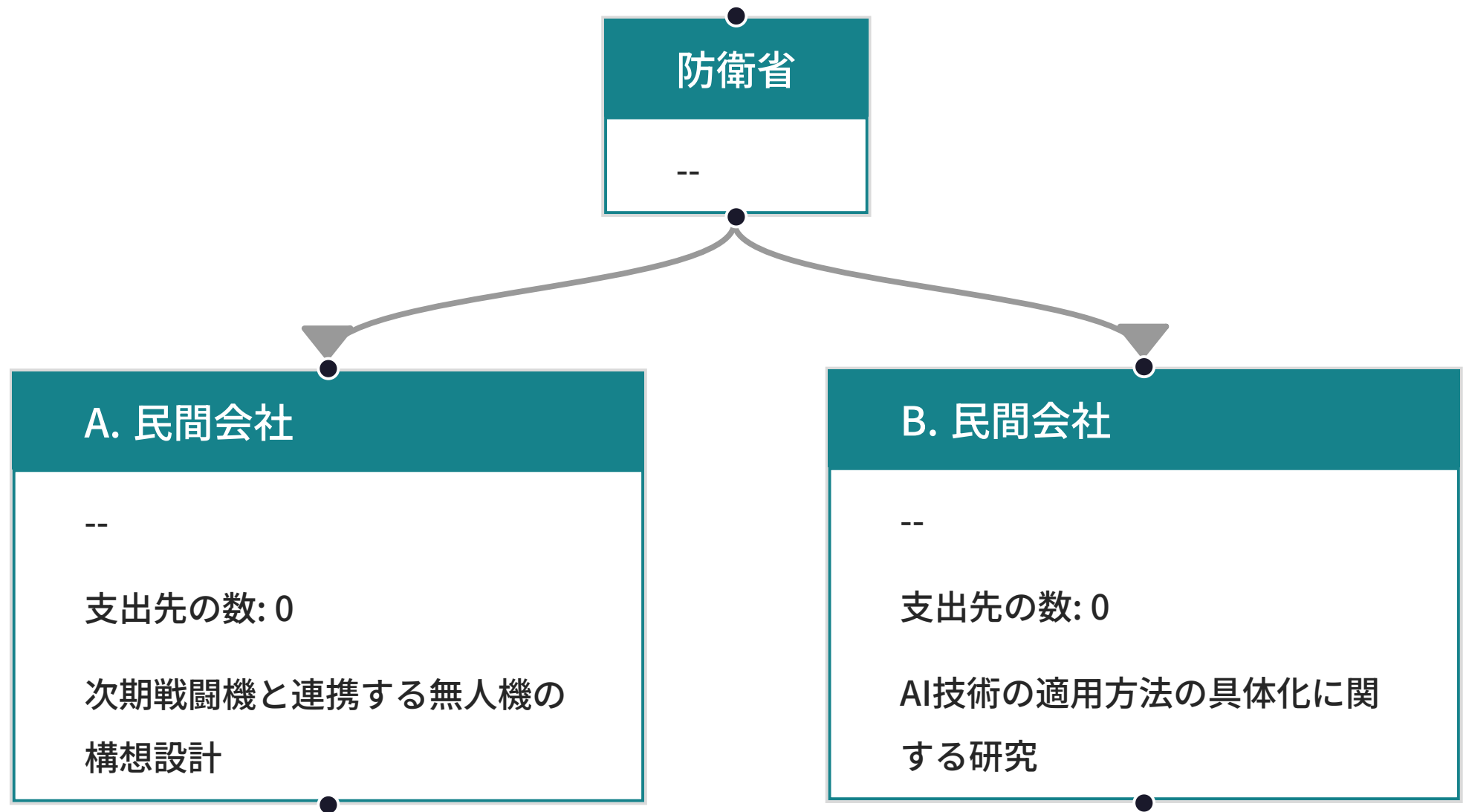
アクティビティからの発現経路 102-202-501

アクティビティ	AI技術の適用方法の具体化に関する研究を実施し、高度に自律的な状況認知及び行動判断を可能とする自律化技術を獲得										
アウトプット	活動目標	AI技術の適用方法の具体化					活動指標	AI技術の適用方法の具体化に係る請負契約の支出件数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度政策評価書（事前の事業評価）			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績			2025年度		2026年度		2027年度		2028年度		
	当初見込み／目標値(件)		0		0		0		1		
	活動実績／成果実績(件)		--		--		--		--		
↓ 後続アウトカムへのつながり	次期戦闘機と連携する無人機の事業計画については、AI技術の適用方法の具体化の成果等や今後の諸外国との協議の状況を踏まえて判断するため、研究開発完了予定のR17年度を目標最終年度として長期アウトカムを設定した。										
長期アウトカム	成果目標	次期戦闘機と連携する無人機の装備化					成果指標	無人機システムのインテグレーション、AI技術の適用方法の具体化を通じて、次期戦闘機と連携する無人機の装備化			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和7年度政策評価書（事前の事業評価）			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	次期戦闘機と連携する無人機の研究は、最終的に研究開発完了をもって要求の達成を判断されるため長期アウトカムのみの設定とした。			
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	最終目標年度 2035年度
	当初見込み／目標値(件)	--	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）									
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf									
	該当箇所	P127～129									

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	【１．必要性】 次期戦闘機と連携する無人機には、人的損耗及び消耗を局限し、かつ航空防衛力を質・量の両面で向上させ相手の無人機による非対称な損耗を被ることを防止し、人的戦力の保全を図ることが期待される。本事業では、次期戦闘機と連携する無人機の実現を目指して研究を実施し、部隊への早期装備化に繋げる必要がある。また、連携無人機の分野における技術の進展は急速であることに加え、将来的に国際共同研究・開発へ移行し、協議する可能性を踏まえて我が国の技術力の獲得が必要である。 【２．効率性】 試作品の製造前の段階において、モデルを用いて各種設計の検証を実施することで、製造試験の後段で顕在化し得るリスクを未然に防止する。これにより、事業を着実に推進でき、結果として経費や期間の抑制が期待される。また、技術的リスクの低減及びコスト負担の低減を目的として国際協力を視野に共同研究・開発の可能性を模索するとともに、低コスト化及び取得期間の短縮化が期待される民生分野の先端技術について、積極的な活用を図る。 【３．有効性】 次期戦闘機と連携させて運用することにより、数的劣勢を克服するとともに、有人機にとって被撃墜のリスクが許容範囲を超える状況、あるいは、人間の生理的限界により有人機では実施困難な状況において、人的損耗を局限し、空自の継戦能力を向上させる。 【４．費用及び効果】 モデルを用いた検証等を実施することによって、顕在化し得るリスクを未然に防止でき、事業を着実に推進でき、結果として経費の抑制が期待される。また、技術的リスクの低減及びコスト負担の低減を目的として国際協力を視野に共同研究・開発の可能性を模索するとともに、低コスト化及び取得期間の短縮化が期待される民生分野の先端技術について、積極的な活用を図る。 【５．総合的評価】 本事業を実施することにより、技術競争の激しいこの分野での技術的優越の確保を図ることができ、その結果、我が国の技術力の強化に資することが見込まれ、効率性、有効性、費用及び効果を踏まえ、最終的に政策目標である我が国自身の防衛体制の強化につながるものであると評価できる。				
		目標年度における効果測定に関する評価	--			
		改善の方向性	点検結果を踏まえ、本事業においては民生分野の先端技術について積極的な活用を図り、技術的リスクの低減及びコスト負担の低減を目指す。			
		外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
対象の理由	--					
所見	--					
公開プロセス結果概要	--					
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--		
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--				
	反映額	会計	勘定		反映額 (千円)	
		--	--		--	
	詳細	--				

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--
その他の指摘事 項	--



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A	民間会社	--	0	次期戦闘機と連携する無人機の構想設計	
		支出先名	支出額	法人番号		
		民間会社	--	99999999999999		
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B	民間会社	--	0	AI技術の適用方法の具体化に関する研究	
		支出先名	支出額	法人番号		
		民間会社	--	99999999999999		

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	--	--	--	--	--	--

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号
		--	--	--

その他備考

--

小型多用途U S V

基本情報

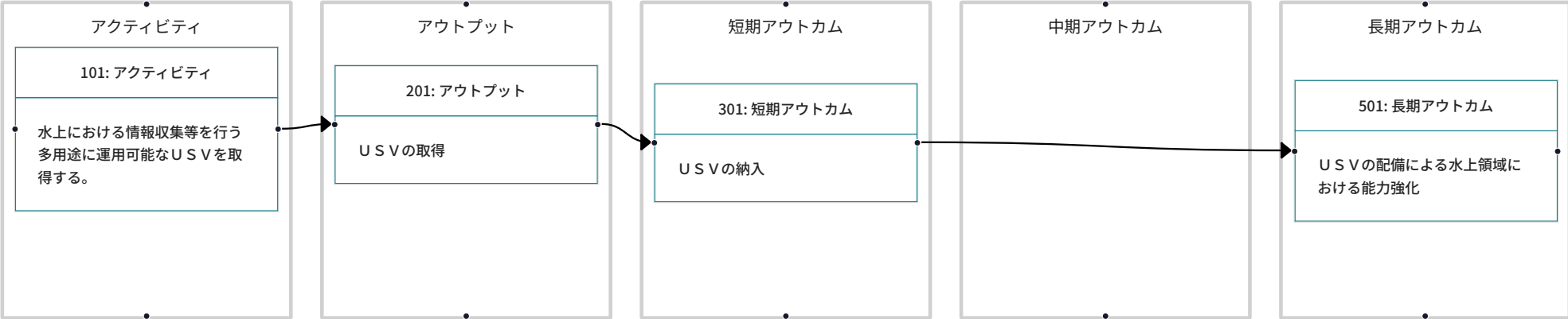
組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）						
	作成責任者	石原里史 野田哲徳						
	その他担当組織	防衛省 陸上幕僚監部 装備計画部 装備計画課						
基本情報	予算事業ID	021797	事業開始年度	2026		事業終了（予定）年度	2027	
	事業年度	2025		事業区分	新規要求事業			
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL		
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	無人アセットによる多層的沿岸防衛体制（SHIELD）を構築するため、水上において敵艦艇等の情報収集等を行う多用途に運用可能なUSVを取得し、無人アセット防衛能力を拡充する。						
	現状・課題	敵部隊の島嶼への上陸を阻止するために、水上領域における能力強化が必要である。						
	事業の概要	水上における情報収集等を行う多用途に運用可能なU S Vを取得する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名			法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名			計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定・閣議決定）			https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施							
補助率等	補助対象		補助率			補助上限等	補助率URL	
	--		--			--	--	
備考	--							

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2025		2026			
	要求額				--	0		
	当初予算				0	--		
	補正予算				--	--		
	前年度から繰越し				--	--		
	予備費等				--	--		
	計				0	--		
	執行額				--	--		
	執行率				--	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		0	0
主な増減理由	--				その他特記事項	--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

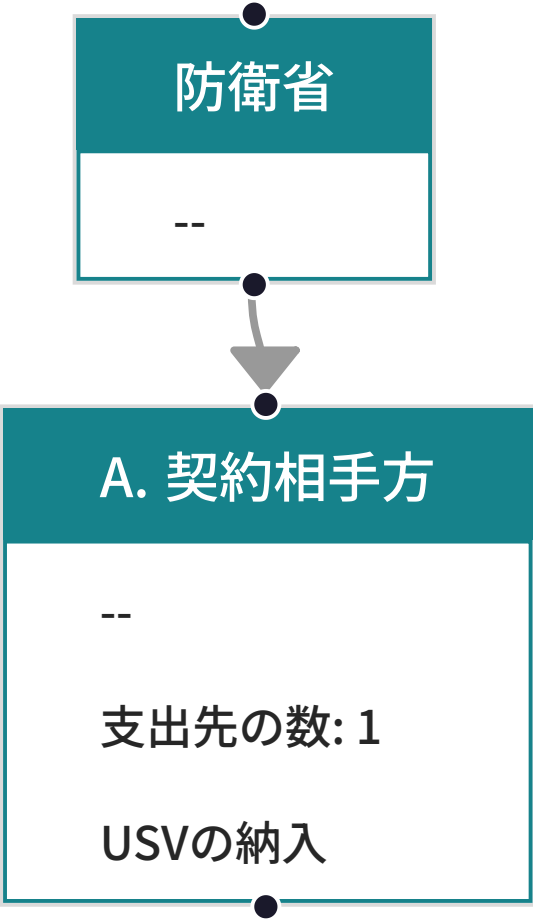
アクティビティ	水上における情報収集等を行う多用途に運用可能なU S Vを取得する。			
アウトプット	活動目標	U S Vの取得	活動指標	U S Vの調達件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	U S Vの調達実績
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	
	当初見込み／目標値(件)		0	0
	活動実績／成果実績(件)		--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	令和９年度末までに部隊が訓練等を実施できる態勢を確保するため			
短期アウトカム	成果目標	U S Vの納入	成果指標	U S Vの納入件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	U S Vの納入実績 納入件数が未確定のため、当初見込みを０件とした。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	U S Vの導入、部隊配備を行うことが無人アセットによる防衛力強化につながるため			
長期アウトカム	成果目標	U S Vの配備による水上領域における能力強化	成果指標	U S Vの配備割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	取得数量に対する配備数の割合
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標 と実績			2025年度	2026年度	最終目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(%)		0	0	100
	活動実績／成果実績(%)		--	--	--
	達成率(%)		--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 近年、諸外国において無人アセットの導入及び技術革新が進展したことに伴い、戦闘様相も大きく変化している。我が国においても、無人アセットによる多層的な沿岸防衛体制を構築する必要がある。 2 効率性 有人アセットに比し安価な無人アセットの大量導入により、効率的な防衛体制の構築が可能となる。 3 有効性 我が国の長い沿岸において、沿岸及び重要港湾の防備を担い、有人艦艇との連携が可能で警戒監視や攻撃機能を有する無人アセットを導入することは、重層的な沿岸防衛体制の構築に有効である。 4 費用及び効果 有人アセットに比し安価な無人アセットを大量導入することは、比較的安価に沿岸防衛体制の構築に寄与する。 5 総合評価 当該事業は我が国の防衛所要に合致したものであり、最終的に政策目標である我が国の防衛体制の強化につながるものである。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	令和9年度末に納入が完了予定だが、極力早期に部隊がU S Vを運用可能な態勢を確保するため、分納等により処置する。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	--		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 契約相手方			--	1	USVの納入	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

小型多用途UUV

基本情報

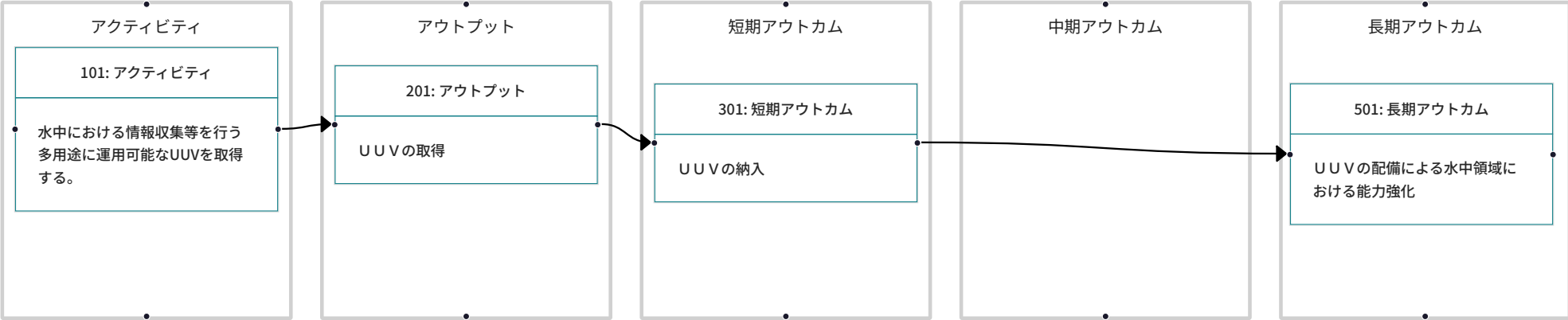
組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）						
	作成責任者	石原里史 野田哲徳						
	その他担当組織	防衛省 陸上幕僚監部 装備計画部 装備計画課						
基本情報	予算事業ID	021798	事業開始年度	2026		事業終了（予定）年度	2027	
	事業年度	2025		事業区分	新規要求事業			
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL		
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（３）無人アセット防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	無人アセットによる多層的沿岸防衛体制（SHIELD）を構築するため、水中において敵艦艇等の情報収集等を行う多用途に運用可能なUUVを取得し、無人アセット防衛能力を拡充する。						
	現状・課題	敵部隊の島嶼への上陸を阻止するために、水中領域における能力強化が必要である。						
	事業の概要	水中における情報収集等を行う多用途に運用可能なUUVを取得する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名			法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名			計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定・閣議決定）			https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施							
補助率等	補助対象			補助率			補助上限等	補助率URL
	--			--			--	--
備考	--							

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2025		2026			
	要求額				0			
	当初予算				0			
	補正予算				--			
	前年度から繰越し				--			
	予備費等				--			
	計				0			
	執行額				--			
	執行率				--			
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		0	0
主な増減理由	--				その他特記事項		--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

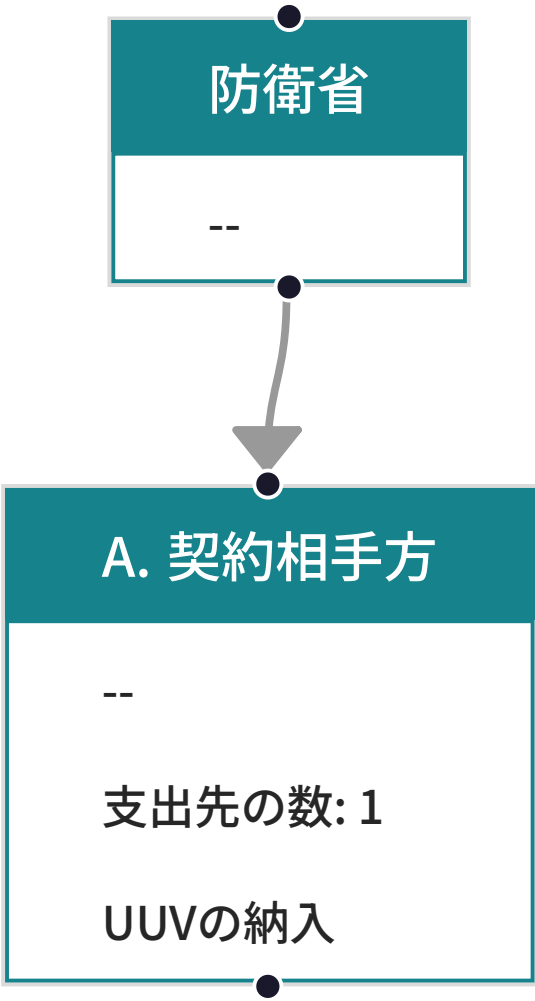
アクティビティ	水中における情報収集等を行う多用途に運用可能なUUVを取得する。					
アウトプット	活動目標	UUVの取得		活動指標	UUVの調達件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	UUVの調達実績	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2025年度		2026年度	
	当初見込み／目標値(件)		0		0	
	活動実績／成果実績(件)		--		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	令和9年度末までに部隊が訓練等を実施できる態勢を確保するため					
短期アウトカム	成果目標	UUVの納入		成果指標	UUVの納入件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	UUVの納入実績 納入件数が未確定のため、当初見込みを0件とした。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2025年度		2026年度	目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(件)		0		0	0
	活動実績／成果実績(件)		--		--	--
	達成率(%)		--		--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	UUVの導入、部隊配備を行うことが無人アセットによる防衛力強化につながるため					
長期アウトカム	成果目標	UUVの配備による水中領域における能力強化		成果指標	UUVの配備割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	取得数量に対する配備数の割合	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標 と実績			2025年度	2026年度	最終目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(%)		0	0	100
	活動実績／成果実績(%)		--	--	--
	達成率(%)		--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 近年、諸外国において無人アセットの導入及び技術革新が進展したことに伴い、戦闘様相も大きく変化している。我が国においても、無人アセットによる多層的な沿岸防衛体制を構築する必要がある。 2 効率性 有人アセットに比し安価な無人アセットの大量導入により、効率的な防衛体制の構築が可能となる。 3 有効性 我が国の長い沿岸における特に島嶼周辺の海中において、敵UUV等の探知・類別が可能な無人アセットを導入することは、重層的な沿岸防衛体制の構築に有効である。 4 費用及び効果 有人アセットに比し安価な無人アセットを大量導入することは、比較的安価に沿岸防衛体制の構築に寄与する。 5 総合評価 当該事業は我が国の防衛所要に合致したものであり、最終的に政策目標である我が国の防衛体制の強化につながるものである。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	令和9年度末に納入が完了予定だが、極力早期に部隊がUUVを運用可能な態勢を確保するため、分納等により処置する。		
外部有識者による点検	点検対象	--	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	--		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 契約相手方			--	1	UUVの納入	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--